

MOZAM TIMES VOL.3





[特別寄稿]

04 JICA プロジェクト

農業・経済開発分野での協力編

HIDETAKE AOKI

ENTREVISTA 2016-02

- 08 | 01 99%の島の人が、彼女を知っている
NAOKO HADANO
- 10 | 02 好きなことを、好きなように
IZUMI AOKI
- 12 | 03 絶対音感でモザンビークのニーズを聴き分けた男
AKIYOSHI SHIMADA
- 14 | 04 つらかった、ムカついた、でもありがとう、モザンビーク
NAGISA KOMORIDA
- 16 消えた隊員、伊藤洋志を追え！ HIROSHI ITO
- 18 モザンビークの結婚式 MASAO UEHARA
- 22 みんなのストレス発散方法
- 24 拝啓 神様、仏様、クーランデーロ様

ENTREVISTA 2016-03

28 | 05 「彼は遅い。」モザン人にそう言わせる その名も Sr. Atrasado
NAOYA OKADA

30 | 06 泣きたいほど辛くて幸せな、音楽室をつくるということ
ATSUMI IWAMURO

32 | 07 ゴミ、ときどき、カメラ
TAKUYA SANO

34 マザーハウスへようこそ

36 潜入！モザンの教科書会社

38 今、知っておきたい紫外線のこと

〔特集〕 モザンおすすめスポット

40 | Expedição em NAMPULA 壁画を求めて

42 | そうだ ビランクーロ、行こう

44 | 唯一の世界遺産、モザンビーク島

48 トウディーニャさんに学ぶ、モザンレシピ

51 SNAP BONITO e BONITA



特別
寄稿

JICA プロジェクト
農業・経済開発分野での協力編

農村部の産業と物流

JICA モザンビーク事務所 次長
青木 英剛



Hidetake AOKI

JICA モザンビーク事務所 次長。元ザンビア JOCV(理数科教師)でもあり、隊員思いの3女のパパ。家族はみんな日本に帰ってしまいたいこころ。趣味はダイビングとテニス。

隊員への一言

やると決めた自分の決断を大切に、いつまでも挑戦していこう。「見えないものを見る」です(しつこい)。

農業の生産性向上

モザンビークの労働人口の約8割が農業、林業、水産業をしており、その経済面での貢献は国民総生産(GDP)の25%程度であるという情報がある。もちろん、農村部では自給自足的な農業が営まれ、現金やカードを使わずに済んでいる部分があるため、数字が低めに現れること、また、一般的に第1次産業の生産性(効率)は低いといわれていること、を割り引いて考える必要はある。

とはいえこの数字、もう少しどうにかならないだろうか。

このような農業分野に対して JICA は「熱帯サバンナ農業開発プログラム」(通称 ProSAVANA)、「ザンベジア州コメ生産性向上プロジェクト」(通称 ProAPA)で支援している。作物は異なれど、いずれも生産量の増加、生産性(1農家当たりの生産量や1haあたりの生産量)の



マーケットを意識した産業振興

観察してみると、どの農家も同じ作物を作っていることがある。豊作になればその作物がマーケットにあふれて値崩れが起き、凶作であればどの農家も共倒れ、という現象が発生してしまう。生産量と生産性が上がったとしてもこのような状況では、報われない。そこで「作ってから売ること考える」、のではなく、「売るために作る」ことに考えを巡らせて、農家ひとりひとりの「やる気」を引き出しているプロジェクトがある。「小規模園芸農民組織強化計画プロジェクト (SHEP)」*1。モザンビークでも SHEP と呼んではいないものの、先の ProSAVANA でもこのアプローチを試みている。

作る側の農業・食料安全保障省 (MASA) とのプロジェクトを紹介してきたが、逆からのアプローチも支援している。商工業省 (MIC) の下部機関である中小企業振興庁 (IPEME) と進めてきた「一村一品運動を通じた地域産業振興プロジェクト」。通称一村一品プロジェクト、もしくは CaDUP (Cada Distrito Um Produto)、対象州はマプト、ガザ、イニャンバネ、ナンブラ、マニカの 5 州。2013 年 1 月から 4 年間実施され、プロジェクト終了後も昨年度にはフォローアップとしてナンブラ州とマニカ州でアグリビジネスとバリューチェーンの構築における CaDUP 手法の活用、が行われ、今年度も引き続き、その取り組みに JICA は支援している。

地域産業といっても中小よりもさらに小さい零細企業によるものも多く、ビリビリ、野菜やココナツのオイル (事務所に置かれているので関心があればぜひ購入を)、有機野菜 (ルッコラなど)、ガザでは陶器など、まだまだその数は少ない。それでも FACIM に出品した際にはインドへの輸出向けに大きなロットでの生産ができるかという質問がなされたほど、ものによっては注目が出てきている。

プロジェクトでの州商工局 (DPIC)、SDAE の役割は、サポートキットを使って、企業診断をして課題を見つけ、生産、マーケティング、経営面からのアドバイスを行っていくというもの。商品多様化のアイデア提供、品質改善、ビジネスモデルの見直し助言、PR のしかた、ラベル・パッケージの改善支援、グループ経営の支援、などなど。事例はまだ一部だが、販売単価が上がった、売り上げや収益が上がった、といった成果も見られ始めた。地域の産業を興し、軌道に乗せることを支援する、産業掘り起し人とでもいうものである。

向上を目指している。モザンビークでは農家は家族経営もしくはコミュニティ単位での小規模農業を営んでいるため、手作業を中心とした農法であり、おのずと規模が小さくなる。

プロジェクトでは、個々の農家が優良種子を使う、農業技術を普及員に習う、いろいろな作物を耕作できるようにする、土壌の分析をして場所に合う作物が何かを考える、といった支援がなされている。また、個別農家の単位を尊重しつつ、アソシエーションと呼ばれる農民グループを作り、規模のメリットを生かすことを協働で進めている。また、利益をためておくことができる組合を作り、資機材等への設備投資ができる仕組みも模索されている。このように生産量、生産性の向上への模索と期待が込められているのだ。

*1 「ジャパンブランド SHEP」で検索するとわかりやすく説明されたパンフレット (PDF) をみることができる。

農業と産業振興とマーケットのつなぎと

商工業省との協働とはいえ、このプロジェクトで扱われているのは、よく見るといわゆる工業製品ではなく農業産品だ。これが活性化してうまくいけば、つまり多くの人口が従事する農業に付加価値をつけ、マーケットとつないで産業として振興できるのではないか。

ここでもう一つ面白いことがある。

モザンビークの行政構造は中央政府、州政府、郡政府となっているが、農業、商工業については右図の通り、中央がMASAとMIC、州レベルでDPASAとDPICと分かれているのに、郡レベルではSDAEが農業普及と産業振興の役割を担うことになっている。実は他のセクターにおいても郡レベルではその機能をSDAEに持たせているところが多い。郡レベルでは地方分権化が進んでいるとも、あるいはそれぞれが機関を置くほど人材のリソースがない、と言ってしまうとそれまでだが、いずれにしても州レベルまでは縦割りになっているセクターが、郡レベルでは統合されていることがわかる。これを利用してSDAEのディレクターの下、農業と産業振興とマーケットをつなぐことに望みをかけられないだろうか。ProSAVANAとCaDUPで重複するナンブラ州では、いくつかのSDAEが双方のアプローチを受けており、各省の州局と協働しながらSDAEの機能強化を図り始めている。



産業振興と物流インフラ改善は両輪



ナカラ回廊では、インド洋、アジアへの玄関口、いわゆるゲートウェイであるナカラ港を出入口とし、ナンブラからクアンバ、ニアッサ州マサングーロからリシंगाへの道路改修を行っている。アフリカ開発銀行の事業を含めれば、マラウイを突き抜け、ザンビアの首都ルサカまで道路がつながる。併せて、日本の民間企業も出資する鉄道も物流機能の強化に貢献しようとしている。

線状の協力である物流インフラは、マラウイ、ザンビアにも使ってもらってこそ意味があると言える。だが自国内のインフラにモザンビークが投資する以上、自分の国民が恩恵を受けられず、ただただ目の前をモノが通過するだけでは面白くない。資源物流を改善するためのインフラがとかく話題になりがちだが、農業と産業振興が進んでこれがマーケットとつながるためにも物流インフラが良くなってほしいのだ。面的な開発である農業や産業振興と、そのマーケットへのアクセスを強化する物流インフラ改善は車の両輪なのである。



モザンビーク向け JICA 協力

JICA の協力は、大きく長期的な目的を持ち、様々なプロジェクトやもちろんボランティア事業もその中に位置づけられる「プログラム」というものから成り立っている。モザンビークには、「ナカラ回廊開発」、「マプト回廊開発」、「農業」、「産業振興」、「経済インフラ」、「保健」、「教育」、「給水・衛生」、「防災・気候変動」の9つのプログラムが用意され、事業が進められている。

今回は農業、産業振興、経済インフラのうちごく一部を紹介した。実際はここで述べていないがナカラ回廊向けの一（になるはず）プロジェクト、投資促進、電力といった大きな投資が必要な分野もあり、また物流インフラについてもごく一部しか紹介できていない。また、この国の発展の足かせとなっている保健、教育といった社会開発に対しても JICA は支援してきており、これも外すことはできない。

次回以降（がもし与えられればだが）、JICA の協力の歴史と社会開発分野での協力、さらには何でナカラ回廊への協力なのか、についても紹介したい。



本文の中にもでてきた CaDUP、事務所においてある商品の中から一部を紹介します。

Natural Skin Care ORGANIC

顔・体だけでなく、紫外線で傷んだ髪にも使用できる。数種類あり、効能も様々なので自分にあったオイルを探してみては？



◀ CaDUP ではないがイニャンバネの農家さんと一緒に作ったクリーム。みつろうとココナッツオイル・ユーカリオイルを配合。保温だけでなく虫よけ効果もある。

99%の島の人が
彼女を知っている

中学生の頃から協力隊にあこがれ、毎年募集要項を見ていたという直子さん。希望していた要請内容の条件に、「養護施設での2年間の指導経験が必要」とあり、ソーシャルワーカーの資格を取り実際に働いたそう。協力隊ありきの人生が中学生の頃から始まっていた。世界遺産であるモザンビーク島で長年の夢だった活動を終えた今、彼女にしか聞けないことを聞いてみた。

活動の紹介をお願いします。

モザンビーク島内の小学校3、4校を巡回して2、3年生のポルトガル語の授業に入らせてもらい、自作の教材で読み書きなどを指導していた。教科書もっていない子がいるから家に持って帰れるような教材を作りたかったんだよね。一人ひとりが書けるようにワークシート形式にして教材を作ったんだけど、鉛筆を持ってめっちゃ集中して書いている姿をみたときは感動したなー。ただ、子どもたちはワークシートとかみたことないからやる気なんだけど、黒板に手本を書く先生自身が書き順を間違ったり、字が下手だったり…。でもそれを指摘しづらくて「私ならこうするけどなー」って遠まわしに言ってみたりもしたけど途中からそれは受け入れたかな。子どもにきれいな文字を正しく書かせるのはもちろんだけど、私

がいなくなった後に先生たちにあれよかったな、続けてみようかなって思ってもらえる方が大切だし、あえて厳しく言わなかった。

モザン人の彼氏がいるんですね。

赴任してから1年ちょっとくらい仲のいい友達で、しゃべっていて気があうなーと思っていた。その間ほかのモザン人みたいに軽い感じでつきあおうよとかいわれたりもなくおちついた人。ある時電話番号をきかれてそこから。でも変わらないよ、日本人とつきあうのと。今の人は双子かなってお互い思うぐらい疎通ができる。日本人にもなかなかいないかも。時間にルーズなところはあるけどね。

モザンビーク島はエイズの感染率が高いと聞きました

ナンブラの中でも特にモザンビーク島は多い。女友達曰く女性の90%以上が感染してる。島という閉鎖された空間で仕事もないし、女の人がお金のためにいろんな人と関係を持つんだよね。お金を持っている人を見つけて恋人関係になりお金を搾取する。あとは職場で聞いてみたことがあるけど全然コンドームをつけないみたい。ボランティア団体がエイズ対策でコンドームを配ったり講習をしているけど12、3歳で妊娠してしまう子もいる。小学校でも12歳以上の女子を集めてピルを配ってるんだよ。島の女性が作った団体がエイズ感染や妊娠を防ごうとしている団体がね。こっちでは女性が避妊するもの、男性も女性がピルのんでるんだろうって思うみたい。だからエイズ感染しちゃう。

子どもに対する性教育が気になります。

性教育っていう以前に女性は8、9歳になるとマリ(マクワ語)っていう儀式がある。モザンビーク島から少しいったところにムスリリっていう島があって、近所のダンスグループで一緒に行ったときに見る機会があった。女子は8歳ぐらいの時に性器を切るの。そのお祝いの時にその部族のおばあちゃんたちが太鼓とかもってきて教えるの。夜のダンスを。4、5人の子どもとおばあちゃんたちが正座して向き合い、最初リズムをまねさせ、どんどんいろんな動きを教える。一般的な性教育ではなく、いかに男の人を楽しませるかという教育だよ。男の子の場合は4歳の時に割礼をする。キリスト教徒とか教養のある家の方針とかで本人の意思を尊重したい場合なんかは10歳ぐらいで切る場合もあるみたい。縫って1週間ぐらいはお風呂に入れないし痛いからパンツもはいちゃだめ。面白いのはお母さんもお風呂はいたらだめなところ。化粧もセックスもしたらだめ、邪念がくるんだって。何週間かして糸もとれたらお祝い。ケーキをお母さんに子どもが食べさせてあげる。その時お母さんめっちゃ泣くの。うちの子が無事に男の子になったって。安心の涙だね。3歳ぐらいのときはその辺で立ちションしても隠さないけどそのお祝いが終わったら人前では隠すように習う。性教育っちゃ性教育だよ。女子は生理が始まったら親がちゃんとひざとひざをあわせて時間をとって教える。こういうことに気をつけなさいとか妊娠するよとか、恥ずかしいとかいってられないからね。学校は教科だけ、道徳とかクラスホームルームとかないし、家で教えてるからその必要もない。生活に関わることをしっかり家で教えてる。



自分の変化を感じることはありますか？

性格変わったよ、めっちゃ。日本にいたときは困ったとき困ってるって言えなかったし、その意見違くなって思っても言わなかったけど、ガッツリ正面からぶつかるようになった。日本だったら、助けてほしい時に助けてってなかなか言えないけどこっちの人は苦しいとき苦しいっていうから。イスラム教の影響もあるかもね。細かいことも気にしなくなった。こっちの子どもたちって自分っていうものをちゃんと持ってるよね。なんでだろうって考えたら小さいときから家のお手伝いもして路上で物を売って、人と関わることがすごく多い。自分の役割を自分で見つけてる。小さな子どもでも自我を持ってるんだから私も自我持とうって思ったんだ。あとハタリもきくようになったかも。前は確信がないことを言うのは嫌だったし、自分ってそんなにたいそうな人間じゃないって思ってたけど、言ったもん勝ちだなんて。こっちの人が間違ってもはっきり言うのをみて、間違っても意見言った方がいいなって思うようになった。

後輩にむけてアドバイスを

私はたまたまお手伝いさんがいて、その人と気があってあちこちつれてってくれたからいろんな知り合いができた。家の中にずっといるのはもったいないかなって思う。一人でも二人でも友達をつくってその人にずっとついていくといいかもね。嫌いだからって家にこもるんじゃなくてとりあえず外に出て行って、いいところを見つけていく。そうしたら自分も楽しくなるし言語の習得にもつながるし、日本のことを知ってもらうチャンスにもなる。1年目は毎日外に出っぱなしで、ずっと話しまくって家帰った瞬間にバタン！って倒れこむかんじだった。きつかったけど2年間楽しかったな。まずは自分に興味をもってもらうだけでいいんじゃないかな。それだけで日本人が来たっていう証が残せると思う。職場の隣の席に日本人がいて一緒に働いていた、その日本人が日本のことをこう話っていた、日本ってこんな国らしいよ！ってそれだけで私たちが来た意味はあるんじゃないかな。



好きなことを、好きなように

青少年活動隊員として、マプト小学校で体育と音楽を教えていた泉さん。もうちょっと意味のある仕事してみたい。そう思い立って、商社から一転、国際協力の世界に足を踏み入れた。海外で働いたこととはもちろん、子供に何か教えた経験もなかった。子供に向き合い、奮闘し続けた2年間はどうなものだったのか。

活動内容を教えてください。

体育をメインに音楽を一コマ。あとクラブ活動で手芸を教えました。

日本の授業とモザンの授業は全然違いますか。

違います！体育は、まず数が多いんですよ。1クラス70から80いるんです。学校によるんですけど、私の配属先は子供で溢れかえってて。コントロールするのがすごい難しい。しかも体育は運動場がないから、地域の空き地を使ってた。砂地だし車も人も通るんで、子供が集めて体育をできる環境ではなかった。

やる内容は日本と一緒になんですか。例えば50メートル走とか。マット運動なんかはないですよね？

マット運動は、砂地にカプラナ引いてやらせてましたね。えー面白い。

あと、やっぱり砂地だからバスケやハンドボールとかは難しいんですけど、例えばハンドボールは、ドリブルなしで3歩以内にパスすれば歩いてOKっていうルールに変更してやらせてた。

手芸クラブの人数と年齢層はどんな感じ？

最終的には20名くらい来てたかな。メインは11-12歳くらいだけど幅はあるかな。結局1年生から7年生まで来てたから。でも1年生の子は自分で作れないから、わたしが作ってるのを見て学ぶ感じでした。小さい子に針と糸を持たせるのは危ないので。

では、協力隊来る前と今の自分の変わったところとかがありますか。

とりあえず、なんかどんどこでも寝れるかな（笑）あとゴキブリ殺せるようになった。

おーっ。

前だったらここでは寝れない、不潔ーって思ってたような場所でも寝れるし、あとシャワーお湯でなくても大丈夫だし。むしろシャワーから水出ないって言われても大丈夫だと思う。

サバイバル能力アップですね。

同僚とはどんな関係でした？

同僚とは普通にいい関係築けた。カウンターパートは2回変わったんですよ。1代目は去年の8月までで、2代目は2週間しかいなくて。3代目の時は本当に遅刻と欠勤が多かった。授業中もずっと携帯見てるし、全然子供見てないの。毎日のように私が一方的に怒って喧嘩しました。

でも、まあ彼も自分の非をわかっているから、特にわだかまりとかはなかったですね。

彼は更生したんですか。

いや？（笑）なんか「家に人がいっぱいいて tomar banho できないから、時間がないんだ。だから遅れた」とか言って、言い訳ばかり。反省の色はなし。休む時も無断。で、後から病院行ってたとか、奥さんの調子が悪かったとか。

今後更生するのかどうか。

わかんない^^

2年間で印象深い出来事は？

泥棒にパソコン取られたこと（笑）

あーやはり。その時日本に真剣に帰りたくなって思ったようですが。

もう真剣に任期短縮しようと思いました。新しい家もなかなか決まらなくて。決まってたけど校長が契約書全然書いてくれなくて。書いてくれたけど全然間違いだらけで。引越しの手続きに時間がすごかかりました。

モザン人の書類のミスのは何なんでしょうね。

長いことドミにいたので、もうこれは帰ろうと思って。期限を決めました。4月2日に泥棒に入られてドミに来たから、5月1日までに引っ越せなかったら任期短縮しよう！と思って。家から布団とかいろんなものを持ってきて、もう帰る準備をしてました。

えーっ。

そしたら5月1日に引っ越せました。

新しい家はどうでした？

クオリティ的には下がったんですけど。最終的にお湯も出なくなったし、部屋も狭くなったし。でも大家さんがすごい優しくて、大家さんとい関係になれた。家の前が警察関係の人だったし、大家さんの家と同じ敷地に私の家があるので、セキュリティ的にはよかったです。

じゃあモザンビークで任期中で行った旅行で良かったところどこですか？

ピランクーロのバザルト島。

イリャより良かったですか。

え、いい。全然いい。シュノーケリングが良かった。バザルトの方が全然魚見えた。

ちょっと行きづらいのかな？あ、でも飛行機あるのか。飛行機あるけど高い。往復20ミルくらい。ナンブラ行くより高い。シャバだと12時間弱かな。

国外だと、どこが良かったですか？

ジンバブエ。同期隊員の配属先見学して、街をちょっと観光したくらいなんですけど、ジンバブエ人優しいんですよ。温厚で。なんかモザン人みたいな嫌な絡み方しないから。ま、チャイナは言われるけど、悪意がある感じじゃないし。



私は旅行で行ったから、知らないだけかもしれないけど。でも優しかった。

モザン人と違いますね。

空港ついた瞬間に笑顔だったの

え、笑顔あるんだ。すごい（驚）

モザンにへの印象はどう変わりましたか。

なんだろうね。最初はね、先輩隊員の話聴いてたら、みんなモザン人に対して冷たいなって思って。なんかモザンビーク大っ嫌いになって帰って行った人もいって話を聞いて、いやそれはちょっとひどいみたい。私はそんなこと言わないって思ってたんですけど。まあ大っ嫌いではないですよ。でもまあその気持ちがわかるようになった。

逆にモザン人のここがいいなって思うところありますか。

怒りをひきづらないところはいいなって思う。今日喧嘩しても明日には仲直りしてる。あと子供をみんなで育ててる。身内とか他人とか関係なくコミュニティで育ててる感じ。

すごいありきたりな質問していいですか？後輩へのメッセージを…（笑）

家が安全とは思わない。戸締りしていても泥棒入られる時は入られるから。グアルダいても。

あとは、あんまり気にせず自分の活動を、自分のやりたいように取り組んでください、と。他の隊員とはフィールドも違うし、やってることも違うし環境も全然違うから比較しても意味ないから。好きなことをしたらいいと思います！

最後にこれだけは言いたいこととかありますか？

んー無い。あ、1個ある。やっぱりモザンはフルーツが美味しいから、夏にライチは絶対に食べたほうがいい！めっちゃ美味しいよ。12月くらいから。頭に乗っけて売り始めるから。1キロね、150から200メチくらいだったかな。

わかりました。ぜひ食べて見ます！

絶対音感でモザンビークのニーズを 聞き分けた男

Banda YASUKEのライブ

マクアを歌う日本人又は中国人としてWhat sapp
を通してシェアされ、北部で一躍有名となる。

吉岡：活動内容ってどんな感じなんですか？

島：ナンブラにある初等教員養成校（以下 IFP）っていう未来の小学校の先生を育てる専門学校にて、音楽の指導がメインの活動やね。授業は全部で6ヶ月あって、モザンビークの中学校では音楽の授業がなくて、小学校で勉強したことをほぼ忘れてるから、前半の3ヶ月はその復習。そして、後半では教授法を教える。

吉：最初は産学が中心なんですか？

島：そう。モザン人の大好きな定義付け。これは俺の持論やけど、モザン人は好き。なんでかって、採点しやすいから。例えば「音（楽）とは何か」とか。教科書には「振動が聴覚に伝わって...」とか小学生に教えてるねんで。わかるわけない。

吉：どうやって教えてるんですか？

島：これはカウンターパートの授業見て膝を打ったんやけど、「音とは耳から聞こえるものです。」って答えてた。すごくシンプルでわかりやすいからすぐパクった。笑
そこから五線譜の書き方とかの復習。

吉：3ヶ月後はテストか何かあるんですか？

島：俺が赴任する前は定義についての筆記テストのみだった。例えば「音楽を教える重要性は」とか。意味ないな。って思っててカウンターパートに伝えたら共感を得てくれて、実技試験を導入した。そしてたら実技が簡単なものもあるけど、点数が結構上がったんよ。

吉：どんなテストなんですか？

島：楽譜見せて「このリズムを叩きなさい」とか。

吉：そんなにいいんですか？（笑）

島：先生の使命っていうのは、テストで満点を取らせるように授業をしていくことやと思うねん。でも実際に聞き逃したり、ノート取り忘れたりしてなかなか取れない。満点をとる子もク

ラスに2人くらい。あと、実技にも問題がちょっとあって、実技は一人ずつやっていくもんやから、聞こえてきてしまって後の生徒がバカるねん（笑）でもそれも能力かなくて、目をつむってる。

吉：後半の3ヶ月はどう指導してるんですか？

島：後半は主に模擬授業と授業プランが中心。

吉：授業プランは全部一人で考えるんですか？

島：そう思うでしょ？日本人的には？（笑）授業を進めていくと、どうしても各クラスによって進度に違いが生まれてしまって、先に進んでるクラスから丸々パクってきよる。笑 でもまあ、自分が学生の時って同じようなことやってたから、しゃあないなって。笑

吉：そんなにひどいんですか。笑

島：ひどい。中にはきちんとしてる子もおるけど、採点してる「これ見たことあるなあ。」ってのがあ。その場合は若干減点する。

吉：今までに出会った賢い子っていましたか？

島：目ん玉飛び出した子はね。すごかった。一般の生徒やと画用紙に五線譜と音符を書いて教えてるんやけど、その子は五線譜だけが書かれた画用紙を貼って、丸い画用紙見せて、「ここに音符が着たらなんの音になるでしょう？」っていう授業してん。考えさせる授業するって画期的。写真撮りまくったもん。その子には19点あげた。

横井：反対に手を焼いた子あった？

島：おったよー。Rちゃん。マンツーマンで補習とかしてあげらんやけど、何回やってもでけへんかってん。追試とかしてもカンニングしよるわけ。もう切れたわな。ただその後「すいませーん！」って抱きつかれて、許してももうてんけどな。（笑）これはほんま後悔。



Entrevista

吉：結局その子はどうなったんですか？

島：結局進級はしたけど、その次も苦勞してたな（笑）あとは小学校の教育実習で、実習先の先生が乱入してきて、生徒に点数が低いと怒ってん。ほいで点数上げて欲しかったら 10MT 払え！っていうて並ばせててんな。成績が低いのを生徒のせいにするなんてほんま「ナンセンスやねん！」。自分の能力がないって言うてるようなもんやねん。

吉：小学生の先生がやってたら生徒も真似しますよね…

島：そうねん。先輩の先生がしてたら影響されるんやんね。この学校の環境はほんまヘド口やね。



横：日本の教育をらとするなら、モザンは何点？

島：いやマイナス4やわ。

吉：そんなに（笑）でも改善していく可能性はありますか？

島：俺の疑問言うていい？ザンビアにね、同じ初等教員養成校があるんよ。そこの先生は教材研究を自主的にしてるんよな。すごい感動して。学生は今教材研究を形だけかしらんけどやってるんよな。でも先生がしてるんみたことない。どうしたらええんやろな。

横：うーん、これはうちの同僚の例やけど、この間同僚が日本の研修から帰ってきて、訳してほしいってプリント渡されてん。それは理科の植物の維管束をみてる実験のやつやってんけど、すごい感動してて。実験とかやっぱりやってないからすごく新鮮みたいで。すぐ配ったわ。やから外の空気入ると変わるんかと思って。

島：共感したらすぐやんね。共感ってすごく大事。

吉：そういう事に触れる機会が大事多いといいですね。そういえば授業内容って、ボランティアが決めるんですか？

島：いや、教科書みたいのがあって決まるとるよ。専門的すぎるし、多いから全部教えへんけど。ムズ過ぎるねん。音大で置かうような事を小学生にさせてるねん。（笑）これね、多分ポルトガルの影響なんかなって思うんよな。ヨーロッパってそういう義務教育があつて。なんでかって言うてヨーロッパには溢れるほどあるんよ。でもアフリカでは楽器もないのに、音教えてもわからんわな（笑）

吉：IFPにはどの教科があるんですか？

島：全部。教科によって期間は違うけど。英語とか数学は2年間あるけど、美術とか情報とかは3ヶ月。体育も2年あったりしてわけわからん。これは全部教育省が決めていくんよ。やから急にカリキュラムが変わったりする。

吉：他の小学校とかもそうなんですか？

島：うん。それに影響されて、IFPのカリキュラムも変わる。音楽も減った。その代わり数学と理科が増えたね。モザンビーク政府は力入れてるみたい。JICAプロジェクトもあるしね。

横：活動の話ばかりしてきたのでここで一つ2年でいっちゃん急なかつたことは？

島：言うほどないけど、ドキドキしたんは、スリ未遂よね。なんかそこそそしててパッと見たら財布なくなつてん。まあ隣の奴が持ってて取り返してんけど。（笑）

吉：僕もスリですかね。

島：いやスリは未遂を含めるとナンブラ隊員全員やられてるやんね（笑）あとは詐欺ね。それと同僚に携帯取られた（笑）

横：新隊員へ何か一言ちょーだい。

島：教育隊員へ向けては、トライアンドエラーを繰り返してほしい。受けるポイントを見つけるのが大事な。他の隊員に対しては、「演技力を鍛える」かな。くれくれ攻撃つてめんどいやん？そこで金貸してとか言われた時に、「いや嫌が病気やから」とか誤魔化す演技力。

横：では最後に教育隊員のボランティア向けヘッドバイスを。っていうのも免許は持ってても教員経験があるボランティアって少ないと思うんよな。

島：まずですね。子供の思考力を伸ばすと自ずとコントロールができてくるんですね。考えさせると自然と静かになるねん。細川さんと分科会やってて思ってたけど、授業中にあんまり褒めたりせんほうがいい。なんでかって言うて、教員が褒める＝教員が評価してる。発表した子と先生の対一の関係で終わってしまう。ほいで後の50人くらいは置いてけぼりになる。それはすごい非効率やねん。だからまず生徒に評価させる。例えば1+1は？って聞いて1人が答えたら、そうですね。っていうやなくて、あつてる？って子供に考えさせるねん。そうすると自ずと教員が直接評価を下すことはなくなってくよな。子供が評価をする。すると他の生徒の発表を聞くようになる。そうなるって静かになって、コントロールしやすくなるやん？せやから子供同士の交流を増やしたらええと思う。

どうしても教員としての経験がないと、怖いよね。生徒とかに判断を委ねるんが。自分が正解を言うたらすぐ終わるから楽やねん。けど、一旦止まって生徒に聞いたらやっぱり生徒は考えるから、そうやってどんどん思考させていくといいんかな。それが第一歩の気がする。学生にもそう教えてる。教員は評価をしないって。ただ、全体が間違つた場合は止めて、説明させるけど。授業は教員中心やなくて、生徒中心やからね。

横：確かに。モザンビークって教員って結構社会的な地位が高いやん？せやからうちらが間違つても言わへんのよ。でも生徒に説明させてみると、パンパン「違う！」とか言う。

島：それは生徒が授業に参加しとるよな。

横：授業わからんかったら全部生徒に投げたら楽（笑）

島：あとは同僚に助けを求めん。うちのカウンターパートはほんまにあたり。日頃の行いがよかつてんなあ。

一同、同僚に頼るってことで納得して、その後も録音を放置したまま飲み会は続く。



つらかった、ムカついた、 でもありがとう、モザンビーク。

コミュニティー開発隊員としてイニャンバネ州イニャリメ都の経済活動事務所で、おもに農業分野の支援を行っていた小森田さん。農業、バイク、ポルトガル語、全てがはじめての経験の中、自分にできることはないか奮闘していた日々。苦しい、辛い思い出ばかりだったと語る中にも、モザンビークに対しての感謝の気持ちがにじみ出る。同僚たちと流ちょうなポルトガル語で和気あいあいと語らう彼女に、2年間の苦労やモザンビークへの思いについて聞いてみた。

一番最初にやった活動は？

養蜂。養蜂と稲作と野菜をやるって決めてきた。

研修とかはあったの？

いや特に。もともと実家が兼業農家だったので。農業は身近にはあったけど嫌いでした。深僻なので（笑）土とか汚いし。

応募する時はどんな仕事をしたいと思っていたの？

女性の就職支援とかに関わりたくて。モザンビークは希望にはいってなかった。アフリカを入れてなかった。汚い！（笑）電気もないし水道もないし。アフリカの選択はなかった。

モザンビークに来ての第一印象は？

イニャリメは田舎だけど、がんばろうというか、まあやるか、という感じ。やれることをやって帰ろう。成長して帰りたい、と思った。二年間無駄にしたらもったいないから。自分の成長につながらないことをしてたら、無

駄だなんて思って。

2年間、喜怒哀楽それぞれどんな思い出がある？

嬉しかったこと。なんもないですよ（笑）なんだろうなー。怒ったこと。毎日怒ってるからなあ。失礼なこと言ってきたら怒るし。「さぼってばかりだから貧乏なんだ！」とか。激怒はしない。最初からそういうスタンス（笑）

怒るのも、ポルトガル語で意思疎通ができないと難しいよね？

来たばかりの時は話せなかったけど、やっぱり悔しいじゃないですか。ダメなことをダメって言えないのは。農家さんの子供とか、失礼なことしたりとか、しつけしてなかったりとか、してるんで。そういう時に、どういふうに怒ったらいいのかわからないのか、どういう言葉を使ったらいいのかわからないのか・・・カンペを作って怒る！（笑）今度こういう単語使って言ってみようとか、なんでダメなのかを説明できるように。ただ「コノヤロー！」とかじゃなくて。だから、怒った思い出って特に・・・毎日です（笑）特に子供。「China！」って言うてくるとか。国名で人を呼ぶのはおかしいよね、って。

怒られた子どもたちは？

泣きます（笑）泣く子は泣きます。道歩いてても、ダメなことしたら、ダメって言わないとなつて。なんでダメか、を言わないと。「China！」って言われたら、国名よりもまず Nationality を聞かなきゃだめだよなって。大人にも言います。

最近すごく怒ったのは、同僚たちと飲んでたら、知らないおじさんが私をすごい馬鹿にしてくて。中国人、中国人って。ぶちぎれましたねー。あなた大人でしょ。エチケットないの？教育を受けてないの？とか。がーって怒って。周りがすごい「Desculpa, Nagisa...」って謝ってた。そういう人はモザンビークの社会を悪くしてるから、社会にあなたは必要ありませんって言った（笑）むかつくじゃないですか！！（笑）

大変だったこともいっぱいあったんだよね。

バイクでこけたり、バイクや服が盗まれたり、トイレに閉じ込められたり、すごい田舎でガス欠になったり…。いろいろありました。おもしろかったですね～ネタですね～。

イヤなことがたくさんあっても、モザンビーク嫌いってならないのがすごいよね。

盗まれた直後はイヤになる。なんでボランティアとして頑張ってる人のものを盗むのかと。そのたびに、同僚がまあまあ落ち着いてって（笑）同僚もねえ、いい人なのか、悩ましいところもあるけど（笑）まあ楽しいですね。同僚と飲んだりとかするのは楽しいですけどね。

同僚との飲み会が、日本での飲み会みたいだった！上司がいないところで、上司のここが悪いって言ったりとかね（笑）



イヤなことはどうやって解消するの？

自己消化。自分の中で消化するしかない。あとは親しいモザン人にぶつける（笑）バラッカとかで「お前ら全員×××（暴言）——！！」って（笑）すっきりします。モザン人優しいんですよね。絶対怒らないから、私がどんなに暴言はいても。一緒に怒ってくれますよ同僚も。共感してくれる。「それはつらかったね」とか言ってくれる。

そういう人がいると救われることもあるよね

そうですね。楽ですね。いろんな事件もありました。いろんなイヤなこともありました。ムかつくこともありました。もう、感謝ですよ。自分を成長させてくれてありがとうって。

どこが成長したと思う。

許容範囲が広がりましたね。心が広がった。許容できることが多くなりましたよね。

ポルトガル語もすごい話せるよね。

そんなことないです。来て半年で勉強するのあきらめましたから（笑）2週間に1回の会議があるから、とりあえずそこで、きれいなポルトガル語をしゃべれるようになろうと思ってましたね。

もっともっと会話できればって、悔しい時いっぱいあって。同僚も、私がいかにできないと思ってるから、ちゃんと聞いてくれない。説得力がでない。納得してもらえない。語学力がないと。信用してもらえない。そういう時に、しゃべれるようになりたいって思う。

でも最近になったら悔しくもなくなってきて。あいつらもしゃべれないじゃんって（笑）

あなたたちは日本語しゃべれないし英語もしゃべれないじゃんって。だからもうあんまり勉強しなくなってきた（笑）

難しいですよ…ポル語も…全てが大変ですよ。バイクも農業も養蜂も加工品もポル語も全部初めてだったから。なんかもう…本当ありがとうございます！モザンビーク！みたいな（笑）ありがとうーモザンビークー！！

—— ここで、インタビュー現場に彼女の同僚たちがやってきて、たちまち飲み会がスタート。「別にあいつら呼んでないのになー」と言いながら、楽しくおしゃべりしあう小森田さんと同僚たちを見ていると、2年間でたしかに紡がれた絆の強さを垣間見ることができた。

SEXTA FEIRA

2016-02 定価 164MT

緊急調査！

養蜂や稲作の技術指導
収量向上のための支援など
を各農家を訪問して行っていた



聞き込み調査

伊藤隊員をよく知る人物に
聞き込み調査を実施

証言 1

配属先同僚
Claudia さん



Q. 彼とどんな仕事をした？
養蜂の仕事で、彼とたくさん働いたわ。いい蜂蜜がたくさんとれるようになった。彼は農家の畑に行き、日本の技術を教えていたの。農家は喜んでたわ。

Q. 彼はどんな人物？
とってもいい男！

Q. 恋人になりたいか？
いいえ、恋人にはなりたくないわ。

イニャンバネ州マシंगाのSDAE(経済活動事務所)で活動する伊藤洋志隊員へ、機関誌インタビューの申し込みをしたところ、取材拒否そして謎の失踪をとげた・・・。

ヒロシの
性欲

最初で最後の...

伊藤洋志 解禁！

スクープ撮

衝撃の真実が今明らかになり
消えた伊藤隊員を追え！

彼の人物像に迫り、2年間の活動の足跡をたどるため、取材班は現場へ直行した。

証言 2 同期隊員 K さん

Q. 彼についてどう思っている？



尊敬しています、本当に！自分は適当で、ひろしさんはすごいと考えて、先を見据えてやっていた、自分がそういうふうにはできないので、尊敬しています。ちゃんと計画して、最後の振り返り、結果を客観的に見られるようにやっているとすごいです。向こうは私をどう思っているかは知らないけど。

聞き込み調査

証言3 伊藤隊員と同州で活動する隊員、Tさん、Yさん

▶ Yさん



▶ Tさん



Y) ひろしさんが初めてうちのSDAE(経済活動事務所)に来た時に、料理をさぼったことをずっと根に持っている。アテンドをけっこうしてたんだけど、ひろしさんが来た時に、水が出なくて、カレースープだけ作ったのね。それを今でも根に持っている。

T) いやーほんとに心が狭いよね。

Y) あと、あの家よね。

T) あの絵はやっぱソツとするよね。※1

Y) あと昔いじめられてたこと。

T) あーそうそう、昔いじめられてたから、人を信じる心を失ってる。

Y) 要所要所でひろしさんの間の部分ができるのは、昔いじめられてたから。



Y) ひろしさんのお母さんがかわいい

T) あーそうそう。ひろしさんのお母さんに俺ウナギごちそうになったからね、日本に帰った時に。どうしてもお母さんが一緒にご飯行きたいっていうから(笑)そこで得た情報は「あのひげはインドにいたころから生やし始めた」という(笑)

Y) (笑)あのね、インドでなんかあったらしい。

T) あのポーズも始めたし。※2

Y) それまではね、純粋無垢なサッカー少年だったはず。

T) かわいかったし。インドに行って、ひげ覚えたり、ポーズ覚えたり。

Y) 何かがあった。いじめられてた何かがあるふつとんだ。

T) インドじゃいじめられなかったし。

Y) サッカーがうまいよね。

T) サッカーの時だけロッキーになるからね。ロッキーファイター！つつつて。

T) 俺もね、蜂の仕事手伝いに何回か(ひろしさんの家に)行ったから、そこでね、一緒に料理を作ったり。ひろしさん、チーズライスっての作るんだよ。ご飯の上にチーズのつけてチンして食うやつをこよなく愛してるの。まあまあおいしくて、俺もちょっと家でやるよねたまに。

T) あとね、髪の毛切るとに失敗すると、なんかすごい気に入るんだよね。髪型になんかこだわりがある。

Y) でもそれTちゃんも一緒よね？

T) いやだって、俺の髪は変じゃない！ひろしさんそんな変じゃないのに、すごい気に入って。髪の毛に対してこだわりが強くある。強いこだわりがある。

Y) おしゃれさんだね。

T) ひろしさんは同僚のことを「さん」づけて呼ぶ。あと、オリンピアさんっていう同僚が好き。ひろしさんはオリンピアさんが好き。連れて帰るんじゃないかな？

Y) じゃあじゃあちょっと、モザンでひとはな咲かせたかな。

T) マシシ(イニャンバネ州マシシ郡)のKFCでめっちゃ人気。マシシのKFCで「ITO! ITO!」っていわれる。ひろしさん大好きだから。あそこ通るたびに絶対寄るから。

Y) (27年度4次隊の)武藤さんとの仲が良

すぎたね。すごい楽しそうだった。逆にあんまり仲良くしてもらえなかったよね。

T) ひろしさん武藤さん好きだったよね。

Y) そうねーちょっと寂しかったねー。

Y) あとはね、みんなおなじみのあのポーズよね。

T) 流行ってきたからね。ひろしのよろこびのポーズ。みんなでやってるから。

Y) すごいよね。

T) これは続けるよね。

Y) 何かしらの宗教だね。みんなで同じTシャツきてね。※3



Y) ひろしさんは、名言を残してるよね。

T) 一回ね、武藤さんとみんなと飲んだ時に、武藤さんが「ひろし性欲とかあんの？」って聞いたら、「時折ね」って言った。(笑)

Y) (笑)

T) 『時折』ひろしさんは性欲のばけものになるらしい。

Y) 『時折』ね笑

T) 普段は違うんだけど、『時折』性欲がね。

Y) 満月の日かな。性欲がMAXのひろしさんにはまだ出会えてないかな。危ないかもしれない・・・

※1 伊藤隊員の自宅のリビングにある謎の壁画。とにかく不気味。写真参照

※2 伊藤隊員が写真に写るときによくする、両手を挙げるポーズ。通称よろこびのポーズ。

※3 伊藤隊員は帰国の際、イニャンバネ州隊員へおそろいの手作りTシャツをプレゼントした。

マシシガ

8時30分

伊藤隊員の暮らしぶりを捜査すべく、彼の自宅と職場へ向かった 自宅・職場捜査

写真左上より▶

1 伊藤隊員の自宅：玄関先には作業用の長靴がみえる

2 養蜂用の道具：草木を燃やして煙を出し、蜂の動きを鎮静化させる道具

3 自宅リビング：過去に活動で使用したと思われる、蜜蜂や革製品などが置いてあった。

4 バイク：伊藤隊員はこのバイクに乗り、各農家へと活動しに行っていたようだ。

5 手作り月報：職員たちに日本のこと、伊藤隊員の活動のことをよく知ってもらうために自ら作成した月報。職員たちは日本語のあいさつなども知っていた。



NOSSA CASAMENTO EM MOÇAMBIQUE



Nós casamos!!

皆さんこんにちは。2016年9月にモザンビークへやって来ました、ガザ州シャイシャイで中等教育学校の数学教員として活動している植原正雄です。

私事ですが2018年7月、モザンビークの方とシャイシャイにて結婚式を挙げました。折角の機会なので、式について少しご紹介させて頂ければと思います。



式にて、結婚式定番の歌を5曲以上、皆でステップを踏みながら歌いました(基本シャンガナ語なので、私はステップのみ)。式当日まで残り1ヶ月強、6月に入った頃には、私も現地のシャンガナ語で一曲歌うこととなり、家でも練習しました。シャンガナ語で「私の愛しい人、死ぬまで愛することを誓います」という内容の歌とダンスを、私のIrmãsとして参加頂いた染谷さんと海野さん達と。

これを歌った時は、例のモザンビーク流の盛り上げ方(?)「レレレレレレレレレレ」が出て好評な様子だったので良かったですね。

-Preparação-

式の2ヶ月以上前から始まり、主に歌とダンスの練習に割かれていました。2週間前からは、妻はMadrinha街へ少しずつ食材等買い出しへ行くようになり、式の1週間になると、私もPadrinhoと出掛けて身支度やその他、式の準備に駆け回っていました。2日前位からは、親戚や知人等を駆り出して結婚式の会食用の準備・調理をやっていました。式で振舞う料理の中でも、伝統的な理由からか牛肉は特に大事なようで、事前に隣町で牛を一頭買い、式前日に隣町から徒歩で引っ張って来てもらいました。

-Uma noite antes-

前日には親戚の男性が家に泊まりに来ました。というのも新郎の世話をすると共に、結婚式直前は良くないことが起こりがちだから...ということです。結婚式直前の数日は極力外出しないように妻から言われていましたが、大きなイベントの際などには、隣人などが黒魔術的なもので害を及ぼそうとするのが常だそうです。

私にPadrinhosはいないので式前日より、家に宿泊した男性と、その妻が私の代理父母として、本来の代理父母の代理をしてくれました。妻は式前日から彼女のPadrinhosの家に滞在し、翌朝早朝から髪やドレスなど、式の開始に向けて準備をしていたようです。



Convite



式の招待状。値段はそれなりに張るので特に大事な招待客用のみに数十部作って、あとの50部程は招待状を縮小コピーして、折り紙や花柄の日本のハンコなんかを駆使し、質素ながらもそれっぽくして準備しました。

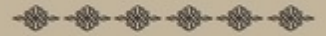
Padrinho e Madolinha



式は妻の要望でカトリックの教会で行われました。カトリックにはPadrinho, Madrinhaというシステムがあるので、実の両親とは別の、代理父母的な立ち位置のようです。代理とは言っても本当に家族の一部というくらい付き合いも深く、私の妻も子供の頃、数年間彼らの家で暮らしていたこともある程です。



No dia de Casamento



Vamos para Jardim

当日は男性はスーツ、女性はカブラナを着用して、デコレーションされた車に乗り、クラクションを鳴らしながら市内の庭園へ。合流次第、親戚グループの歌が始まり、式参加者とのハグなどでの挨拶。日本だと小恥ずかしくて中々出来ないですけどこっちだと何でか自然な感じになりますね。その後、式参加者の色々なグループと庭園内で写真撮影。



Vamos para Casa da Avó

祖母の自宅は、妻の母や姉妹と以前暮らしていたことがあるという昔から馴染みの地。家には数秒だけ滞在して直ぐに出て、妻が別れの歌を歌い始めます。1曲目はしみりとした曲。「家族の元を離れ、家族を残して巣立ちます」といった歌詞だそうで、この時はもらい泣きしている参加者の方もいました。2曲目は、アップテンポで「今日は特別な日、幸せを分かち合いましょう」といった明るい曲。家族との寂しいお別れの時でもあるけど、寂しいだけで別れを終わらせない配慮というか慣習というか、そういう文化的なものを個人的に感じた瞬間でした。



Vamos para Igreja

教会でも同様に歌に付き添われながら入場。まずは、形式張った式典が始まりました。神父さん(?)を始め何人かの方がシャンガナ語でスピーチ、その後指輪の交換や宣誓書の記入。この式典の途中では、急にポルトガル語で新郎への質問が連続して飛んで来たり、神父が言った言葉をリピートしなさいみたいな流れになってちょっと焦りましたね。何言ってるのか良く分からなかった時は、後ろの客席の方から「S i m!」と言ってるのが聞こえたのでそのまま「S i m」と答えました(笑)日本のような、新郎新婦や親御さんからのスピーチ的なものは一切無かったですね。

堅めの式典が終わり、その後は歌と踊りの時間。年配のグループから子供のグループまで、様々なグループが壇上へ上がり歌って踊り、その流れで新郎新婦へのプレゼントの受け渡しへ。この一連のイベントが終わる頃には外も薄っすら暗くなり始め、アルモソンのはずの会食がジャンタールになっていました。

教会での式を通して、先ほどの堅めの式典にしても踊りにしても、何の説明も無くぶっつけ本番というのがこっちらしいのかなあと納得していました。現地の方にとっては、既に生活の一部のようなものなので特段難しいことは無いのだらうと思いますが...。踊りの練習も多少はしてきましたが、それらは式の中のほんの一部に過ぎず、様々なグループの歌・踊りに強制参加な形になるので、付いていくのが中々大変でした。





Vamos para Casa

教会での式典の後、車やトラックで30分ほど掛け新婦の家へ全員移動。

母宅の庭にテーブルと椅子をたくさん並べ、ビニールのシートを張って屋根を作り、食事が始まる頃にはもう夜になっていたので小さな電灯をいくつか照らす、手作り感がある会場でした。お酒は一切無し。ケーキ入刀もこの場で行なわれ、皆お腹が膨れた頃に、歌・ダンス&プレゼント受け取りの儀式も再び。

恐らく普通はその後も音楽をガンガン流し、夜遅くまで踊って...という感じなのだろうと思いますが、今回は食事後にそのまま自然解散のような形で終わりました。私も、任地の規定として5日間のお休みを頂いていたので職場へ行きはしませんでした。特に旅行等をするでもなく、翌日から通常の生活に戻りました。



式を終えて...

教会と会場で受け取ったプレゼントですが、皿とコップだらけで残り2ヶ月程で日本へ帰国することを考えると余り使い道が無いです(笑)だけど、これから新生活を始める人にとっては、食器類や掃除道具やバケツなど諸々、これだけあれば結婚後の新しい生活を始めるのに大分助けになるだろう、便利なシステムだなあと思いました。個人によるプレゼントもありますし、グループでお金を出し合って少し高めのプレゼントを用意したり。カブラナも沢山頂きましたけど、日本へお土産として買って帰る予定でしたので、これは私にとっても丁度良かったです。日本のようにこちらでも、少額ですが紙に現金を包んで渡される方もいました。

また、式の招待状ですが、日本と遜色無いようなしっかりしたものを作れるんだというのは驚きでした。値段はそれなりに張るので特に大事な招待客用のみに数十部作って、あとの50部程は招待状を縮小コピーして、折り紙や花柄の日本のハンコなんかを駆使し、質素ながらもそれっぽくして準備しました。

あとは、一気に親戚的立ち位置の方々が増えて、どこからどこまでがそうなんだか未だに良く分からないですね。

まさかモザンビークで結婚して式を挙げるとは想像もせずにこちらへとやって参りましたが、今後こちらで結婚などをされる際には、この紹介が少しでもご参考となれば幸いです。

今回のテーマ:

みんなのストレス発散方法

協力隊はやりがいや面白さもたくさんあるけれど、慣れないモザンビーク生活にはやっぱりストレスはつきもの…。モザン隊員は日々どんなストレスと戦っているのか、そしてどのように発散させているのか? アンケート調査を実施し、隊員の本音をのぞいてみました。モザン隊員なら「あるある!」「わかる…」と共感すること間違いなし!



ガスが切れて薪で料理しなきゃいけないときの停電。ふてくされる。

歩いていたら「お金くれ・何か買ってくれ」とせびられた時。私はATMではありません。

活動の手応えがあった!と思ったのが幻想だったと思い知ったとき。

お金をくれと言われ、あげないと言っても何回も言われる。いつかもらえると固く信じている。ひどい時は「お前はお金をあげなきゃダメなんだ」と説教される。

アミーゴ!といわれるとき。(友達なつもりない)



日々の活動、生活の中で ストレスを感じるのはどんな時??



多過ぎる、しつこ過ぎる、露骨すぎるナンパとセクハラ。

ポルトガル語がうまく聞き取れない、うまく伝わらない時。

予定通りに物事が始まらない、進まない。気にしてるのはボランティアだけで周りは素知らぬ顔。こちらから言うまでその話については触れてこない。触れても「まー、モザンビークだから」みたいな雰囲気であしらわれてくること (笑)



男性の立ちションを近くで見ってしまったとき。

シャパの中で、音楽が爆音でうるさい時。



「チンチンキャン!」

エンプレさんに前髪をばつんに揃えて切られた時。そしてシャパを待っている時、モザン人にそれをカツラがカツラじゃないか賭けられていた時。

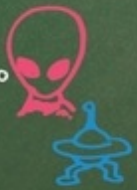


一緒に働け始めた農家グループと予定を立てて、約束通りに行ったが、今日は暑いからやらないと、当たり前のように予定をドタキャンされた時。

シナ! (中国!) と言われる時。



物の言い方が偉そう。とくに人にものを頼むときに偉そうに感じる。おそらくポルトガル語のpodevia〜? ~してもらえますか? のモザンビークでの使われ方はポルトガル語圏がっさり1位。



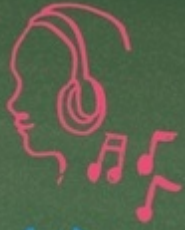
ずっと現地語で会話された時。

泣ける映画を見る、涙活。

手芸の単純作業で無になる。

日本人隊員に会う。

思い切り体を動かす。



家でモザンビーク人に負けない爆音で、日本語の音楽聴く

ライオンのようなポーズで「シャー」と言って威嚇をしています。



YouTubeを見てストレス発散している。



映画ドラマを見て、モザンビーク社会と断絶する

日本の友達と電話して、アフリカにも協力隊にも関係ないふっりのガールズトークをする。



どうやってストレス発散してる??



同期に愚痴る

フェイスブックで他の隊員の活動を見ると、同じ悩みを持っている隊員も分かりホッとします。

バイクで爆走&熱唱。

ストレスを感じそうになったら、「まあいっか」とか、「きっと今自分はお腹が空いているんだろう」と思うようにして、そのことについて考えるのをやめる。

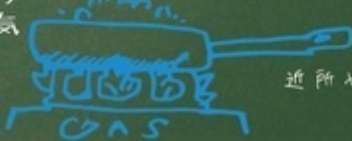


フィギュアスケートを見る



その場で表現する(キれる)。モザンビーク人は頭よりも身体で理解する生き物だと思っているので、丁寧に説明するより大きな声出しながらキれた方が通じる気がする

おいしいものを作って食べる。



近所や救貧院の障害者をマッサージ。



行きつけの飲み屋で飲み仲間とビリヤードしながら遊ぶ。



引きこもる。寝る。

ゴキブリとか蚊を思いっきり潰す。(ゴキブリはサンダルで)



拝啓

神様、
仏様、
クーランデーロ様



2年の間に病気や目標の達成ができないなど、いろいろな困難に向き合うことになる隊員生活。困った時はみなさんどうするだろうか。

毎週日曜日に教会に行ったり、ラマダーンをしっかり行う信仰の強いモザンビークでは Graças a Deus と普段から神と共に生活している印象を受ける。しかしながら、モザンビークではアルビノ狩りや吸血鬼事件がしばしば発生する。そこで耳にするのは土着宗教。同僚は教えてくれた。家に空き巣が入った時にクーランデーロをお願いしたと。果たしてクーランデーロとは？土着宗教とは？危なくないの？そんな疑問を持って実際にクーランデーロに会いに行ってきた。



場所はナンブラ市内より2時間ほど北東へ進んだ Muecate。ここにはナンブラ州でも有名は Curandero がいるという情報を頼りに向かう。8号線を外れ、舗装されていない道を1時間ほど走る。すれ違う車は皆無で、人々が我々を物珍しそうに見る。途中で町により、Tomar Refresco。ご飯を食べずに Refresco で空腹を満たす。これがモザン流。

モザンビークの村は村長を中心にコミュニティが出来上がっているため、まず村長へご挨拶を済ませる。はじめは訝しげに対応していた村長も、Curandero に会いに来たと伝え、快く迎えてくれた。

Curandero の家は村の奥に位置し、車でもやっとのところに立っていた。豪華な家を想像していたが、一般的な家よりも大きいだけで、作りはほぼ変わらないところには驚いた。あらかじめ、連絡していたにも関わらず、今出稼ぎに行っているとのことで、「やはりどこにいてもモザンビークだなと。」用意して頂いた椅子に座り世間話。

Curandero とはポルトガル語で「白魔術士」のことで、病院で治らなかった病気や失せ物などが出てくるようお祈りや占いをしてくれる人のことをさす。反意語も存在し、Feiticeiro は「黒魔術士」のことで、主に呪いをかけることを得意とする。Curandero と Feiticeiro 同士で呪いを掛け合うなど魔法戦争のようなものも実際にあるのだとか。



今回の目的は今後の人生に多幸がありますようにという、日本でいう神社に行ってお参りするようなものをあらかじめ伝えておいた。

結局時間に間に合わず、Curandero の息子である Curandinho に対応してもらうことになった。始めの工程では家の離れにある物置のようなところへ案内され、服を脱ぐように指示を受ける。

入ると部屋の中心でなにやら木の皮らしきものをぐつぐつ煮ていた。

パンツ一枚になり、椅子に座ると胸にメイズの粉を塗られた。最初の工程は身を清めるためにおまじないをかけるそうだ。自分の名前を Curandero へ伝えると、彼は Macua 語で鍋に Falinha を入れながらおまじないを唱え出した。

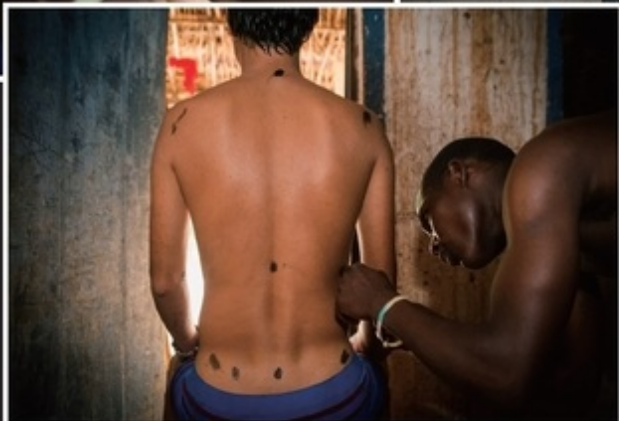
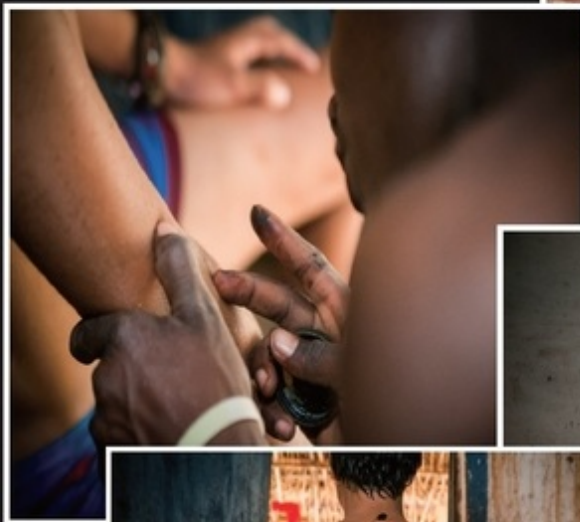
目をつぶるとぐつぐつした音と理解できない言語に不思議と魔法にかけられたように体が落ち着いてきた。



四次元の世界をさまよっていると、突然熱湯によって現実に引き戻された。おまじないを唱えながら丁寧に五体全てを熱湯に浸した木の枝によって清められたのだ。お清めが終了し、ベタベタになった身体をシャワーで流しておいでと言われ、「清めた意味は？」との疑問をぐっと飲み込みシャワーを浴びにいくと、桶にはサンダルウッドの浮かんだホーリーウォーターが溜められていた。

次は綺麗にした身体に呪いが入っていくようにと黒い砂を身体に塗っていく。肩から足までおおよそ20箇所ほど印をつける。身体に穴が空いたような感じになり、ざるで仰がれるたびに風が身体の中を通っていくように感じた。頭の上でざるを回した後に、椅子として用いていたPiladorを倒し、中に入れている瓢箪を取り出す。ここまででおおよそ2時間ほど。

ここで茹でトウモロコシを食べて休憩に入る。収穫したてのメイズはほのかに甘く、疲れた身体行き渡った。次が最後の工程とCuranderoは部屋を暗くし、そとろうそくを灯す。





身体をシートで包まれ、「私がコーランを読み上げている間に、あなたの望みを何語でも構わないので唱えなさい。」
そういと彼はコーランを読み上げた。時間にして約20分ほど。流星が何回流れるであろうか。それほど欲張っている
だろうか。モザンビークのクーランデーロ様は大変寛容で、多くの願い事を聞き入れてくれた。

それが終わるともう1冊のコーランを持ち出し、今度は今まで生きた人生の間に犯してきた罪を告白しなさい。魚を食べ
たのであればそれも罪のうち。全てに対し、懺悔しなさい。そういとまたコーランを読み上げ始めた。。。

懺悔が終了すると、クーランデーロ(父)が最後の仕上げと握手をし、おまじないをつぶやく。儀式は終了し、最後に泥団
子のようなものを手渡された。そして、「この球を水に沈め、聖水を作り、1週間行水しなさい。球がかけたりした場合は何か
を予兆しているから、すぐに電話をかけてきなさい。」と。

結局球は2日目にして崩壊し、連絡したところ、穴に水を埋めなさい。そうすれば問題はないと言われ庭に埋める。果たし
て、今後の隊員生活に影響はあるのだろうか。

Curandero: 白魔術師。主にモザンビークにて医療機関での治療・処置がなされなかつた人々が最終手段として頼られる人々を指す。

白魔術協会が存在し、年に数回集会を行い、情報交換や患者の斡旋を行うこともしばしば。主にタンザニアで修行した人が多く、また血縁関係者が後継者となる。金額は患者の気持ち程度とのことではあるが、暗黙の了解として1人、1000MTが相場とされている。

また1ヶ月の住み込み修行により、Curanderoになることが可能。



「彼は遅い。」と
モザン人に言わせる
その名も Sr. Atrasado

今まで誰も訪れなかった任地でひざを詰めて活動し、農家さんから絶大な支持を得る。

まず活動内容ってどんなん？

SDAE（群経済活動振興部）という所で農業普及員として活動してるよ。バイクで市内から30~40分くらいの所に住んでいる農家さん達を訪問して、作物の収穫が上がるようにアドバイスをしたりするのがメインの活動だね。

農家さんはどんな作物育ててるん？

ナカラって農業ポテンシャルがあまり高なくて、他と比べると、天候や土が農業に向いてなくて。あと、水が極端に少ない。海も近いから地下から海水の影響で肥沃じゃないんだよね。だから農家さんも大規模に耕作してなくて、自分達で消費するために小規模にいろいろ栽培してる感じかな。栽培してる種類はすごく豊富。マレマっていうニアサとの境あたりにある群では「商業」を意識して大規模的に単一の作物を育ててるんだよね。その農家さんから「生産性」っていう言葉が出てすごくびっくりした。地域によって栽培形態や農家さんの考え方が全然違くておもしろい。

なんでそんなにちゃうん？

やっぱり、水ってのがすごく大きい。日本だと水やりが基本的にいらんけど、モザンビークでは乾季に野菜を栽培するから定期的に水をあげないとけない。それだけで1日が終わっちゃうこともある。マレマは川が

あってそこに高低差を利用した水路が張り巡らされてるから、水やりが比較すると簡単なんだよね。

水やりってどれぐらい大変なん？

すごい大変だよ。20ℓの水が入るのを片手で持てるように細工して、1回に40ℓ運搬して、だいたい片道30m~50mを水場から畑まで往復するんだ。それで午前が終わっちゃう。だから疲れちゃって。本当は水もゆっくりあげたほうがいいとか日中は水やりしない方がいいとかあるんだけど、あんまりそういう指導はしてないよね。大変だってわかるから。

農家さんの収入はどこから？

全然選択肢はなくて、自分の家の目の前の道で売るだけなんだよね。本当はメルカドとかで売るといいんだけど、場所代払わないといけないし、そこへ行っている時間もない。不定期で仲買人が来るんだけど、すごく買い叩かれちゃって。でも農家さんも現金収入がほしいから売るしかない。消極的な売り方しかできていないのが現状。だから、配属先の目的としては現金集ny風の向上というのはもちろんあるんだけど、まずはいっぱい栽培できるようにして農家さんの生活改善につながることを意識している。

農家さんとの信頼関係の作り方は？

最初はね、誰？って感じ。農業普及員も5人くらいいるんだけど、みんなバイクがないから誰もいけてなくて。だからびっくりされたよね。笑

でも農家さんも訪問者がいないから畑を見てくれるだけで嬉しいみたいで、自然と仲良くなっていった。

あと、初めの方は農家さんに教えてもらってたかな。モザン人って教えるのが好きでしょ？だから水やりから耕すところまで一緒に作業していった。



農業普及員としてどんな指導を？

農家さんによって関わり方を変えてる。比較的大規模に栽培していて自分達のやり方が確立されている農家さんに対しては、あんまり指導って感じではなくてむしろモザンピークの栽培方法を学ばせてもらったり訪問してただ話したり、彼らのやり方はほとんど理にかなっているけれど、経験によって培われたものだから理論を説明してみたり。理論がわかれば、じゃあこうやってみた方が良いかもって気付くきっかけになるかなと思ってる。小規模で自分達のやり方を模索している農家さんに対しては、新規作物を栽培してみようとか日本の栽培方法を試してみようとか提案してる。ただ、ナカラの農家さんは手間をかけることが出来ないんだよね。日本だと質の高い野菜を作るのにすごく労力がかけられるんだけど、やっぱり水やりにすごく負担が多くて。たとえ、日本の栽培方法を教えたとしても、モザンピークには日本みたいな形とか味とかへの品質の高さがまだ求められてなくて。前日本で働いてた時に本部とかから「これをしなさい」「あれをしなさい」って指導が来るんだけど、実際現場からすると「そんなことでできません。」というのが現状で。もちろん導入することによって改善はされるんだろうけど、現場としては「どこにそんな余裕が？」「それよりも優先順位が高いことが」とかあるわけだよ。提案するにしても現場の実情を見た上で、提案してほしいというのが本音だった。だからモザンピークでは指導する前にどんな困難があるのかを知ってから指導するように意識している。

ほな改善とかはまだまだできない？

簡単にできそうなことを中心に伝えている。例えば、タネ

を蒔く時にはバラバラって蒔いてたんだけど、そこを線引いてそこに植えるようにしたら管理しやすいよ、とか。別に線引いてそこにタネ植えるだけだから負担ではないしね。

今後やりたいことは？

有機肥料（ボカシ肥料）の導入をもっと進めていきたいんだよね。1年間活動してみて、どうかなと思って提案してみたら配属先も賛同してくれて。現地にある材料を利用して意外と簡単にできるから、農業学校や一部の農家さんと協力して作って効果試験をしてる段階だけど、土壌も育つし、どんどん普及させていきたい。効果があるってわかれば農家さん自身が続けていける方法で作れると思うから自由度も高いし。

だから任期延長を？

それも1つ。あとは任期の関係で1年を通して農業を見ることができたのが1回だけだったんだよね。任期を延長すると雨が終わるのを待って、もう一回野菜栽培の準備までできる。来季も農家さんに継続してもらうために野菜の始めまで関わりたかった。もう1つは今、現地業務費でビニールハウスを作りたくて。それがあれば雨期でも有機肥料作れたり、早めに栽培が始められるから高収入にも繋がるし。自分がイメージしてたのは全体ビニールだったんだけど、配属先とかと話して、側面は網目にして温度が上がらないように風通しを良くすることにした。僕はナカラの気候を知り尽くしてるわけではないからね。農家さん、配属先と一緒に現地に適したものが建てられるから完成がすごく楽しみ。

最後に隊員にむけて。

派遣前にやりたいと思っていたことがどれくらいできているか。おそらくほとんどできていません。でも、いろいろと試してみる時間は決して無駄ではなかったと信じています。

何をやるにも1人では何もできません。自分の活動を見てくれている人がいるはず。同時に、自分も相手の声を聴いて考え方・やり方を理解しようとするようになります。そうすると圧倒的に活動を進めやすくなります。まずは、自分の信じた道を突き進む。うまくいくかどうかわからなくても、ひとまずやってみることができるのがボランティアの強みだと思うから。きっとその先に、今ここでやりたい！と思えることが新たに生まれるはずです。





モザンビークで初めて小学校に音楽室をつくった敦美さん。その中では本当に楽しそうな子供たちの姿を見ることができた。何より楽しそうに授業をする敦美さんの姿がとても印象的だった。理想的な活動内容に見えるが、順風満帆には進まなかった音楽室の建設。今、その音楽室について聞く。

活動について教えてください。

活動の内容は6、7年生に音楽を教えたのと子どもたちが楽しめる課外活動としてクラブでピアノを教えた。

モザンビークでは音楽の授業なのに板書ばかりで、とにかく音楽って情操教育なんだよって言い続けたの。歌を歌う、リズムを刻む、板書だけじゃなくてそれを実際にやる。歌って楽しい、がんばって練習してできるようになったら嬉しいっていうのを伝えたかった。達成できた、っていう喜びを子どもたちに学んでほしかった。でも先生たちが子どもの時に音楽を習ってないからそれを先生たちに理解してもらおうのが難しかった。音楽の時間だから歌って手拍子してってしたかったけど、一クラス80人くらいいるし窓もあけばなしだから、「うるさい、静かな授業にしてほしい」って他の先生にいわれて。音楽の授業なのになんで歌うたって怒られるの？リズム刻んでなんで怒られるの？って。でも音楽の授業だから歌

わせてあげたいし、自由に音を出す環境があればいいなって思って。配属されてから半年たって電子ピアノを寄付してもらったんだけどそれを使うと子どもたちが余計うれしくなって歌ってさらにうるさくなるっていう問題と、もう一つは電気代の問題があった。4つのクラスが一棟になってるから1つのクラスだけで電気を使いたくても他の3つのクラスも電気がついちゃう。それで昼間からピアノだけのために電気をつけなくてほしいって言われて。ピアノを持ち出すとすごくいやな顔されて。でもせっかくあるし、子どもたちもとってもうれしそうに歌うからじゃあ音楽室をつくってそこだけ電気をひっぱってくるならいい？って。

それで音楽室をつくらうと思ったんですね。音楽室の反響はどうですか？

子どもたちの反応はね…いいっ！朝から音楽室開けてって子どもたちくるから。元気いっぱい歌ってるし、

楽しそうに楽器演奏してるし。びっくりしたのは子どもたちが自分で音楽を作るようになったの。自分で作詞作曲をする子が増えた。ある子は音楽の先生になりたいってしてくれたの。うれしかった。伝えなかったことが伝わったんだなと思った。ピアノクラブでも子どもたちの成長をすごく感じる。自ら和音にしたりとか耳コピーしてみたりとか。できなかったことができるようになったっていうのを見ることができると授業は楽しかった。子どもの反応を見るのがすきだから。最近は教室型の授業にするとなんで今日音楽室じゃないの？って。

そもそも音楽室を「つくる」というのがすごいですよ。

たぶん JICA だからできたんだろうね。JICA で来てるからいろんなことやればいいやんって。夢やったの、小学校 6 年生の時に新聞広告で協力隊のを見て、いつか行きたいって。それ以来消えることのない夢で、やっと来たから、後悔のないように。もちろんいろんな人に相談した。音楽室作りたいうやけどどうやろうって。相談したときに作らんかったら絶対後悔するって言われたから。学校からも許可がでて、JICA からも許可がでて、いろんな人から後押ししてもらって、じゃあよし！やるって！

でもめっちゃ後悔したよ、作り始めてから。やらなければよかったってずっと思った。だって全然うまくいかへんねんもん。資金もたりないし、先生からの協力も得られへんくて。先生たちも Queremos っていうの。でも結局あんまり手伝ってもらえなかった。あなたの夢だったんでしょってスパッと言われて。私の夢だけど、でも子どものためやん、歌うたって怒られるんやでこの子らって。手拍子やって怒られる、音楽の授業なのに。だから別個で音楽室を作ってるのに、そう言われたから、あー理解してもらえてへんねんって。別に国語の先生が使っているしだれでも自由に使っている教室なんだって言ったけど、勝手にやってることなんでしょって全然協力得られなくて。つらかった。こんなことやんじゃなかったって思って。悔しいし。周りにはすごいことやってるよねとか、それこそ理想形よねって言われたけど、めっちゃ後悔したしやめればよかったってめっちゃ思った。

モチベーションも下がってやる気もなくなって、そういう時どうやって気分を上げたんですか？

もう本当に子ども。「いつできる？」「そこに音楽室できたらいっぱい歌えるんでしょ？」とか「楽器を思いき

りならせるようになるんでしょ？」って聞かれて。子どもたちの言葉だけ、本当にそれだけしかなかった。子どもが受け入れてくれたからやと思う。受け入れてもらってうれしかったの。途上国のためになんかしようって思って JICA で来てるわけやん？だからこの子達になんかできないかなって思って作った。もちろん問題もいっぱいあったけど、この子達のためになんとかしようって私はここに来たんだって思って頑張った。

カウンターパートとも音楽室をつくるので絆が深まったね。材料買い出しと一緒にいたり、愚痴を言いあったり。周りの先生から協力は得られなかったけど彼は協力してくれた。最初は板書ばかりしてるのを見て、なんでもっと歌うたわへんのか言いたいもいっぱいいたけど、完成してから子どもたちが楽しそうに歌ってるのをカウンターパートも見てやってよかったねって、情操教育ってこうだよって言ってくれた。理解してくれた。板書ばかりしてた先生が「今日音楽室で歌しょっか」ってしてくれるようになったから。

最後に後輩に向けてアドバイスをお願いします。

楽しむこと。私がそう言われてきたから。つらかったときはほんともう音楽室なんてやめればよかったっていろんな人に相談してたの。その時にたった 2 年やから、それも楽しんで！って言われたの。「うまくいくことばかりじゃないやん。しかもアフリカ生活で、しかもそんなおきな活動やってるんやから、そんなつらいことだってもちろんあるよ、でも楽しみなよそれを」って言われたの。振り返ったときに絶対笑い話になるからって。つらいこともあるけどつらいつらいつらいつらへこむだけやし、帰ってからこんなことあったわってネタにすればいい。たった 2 年って思い続けた。今いるとすごく長く感じるけど、人生全体のたった 2 年やんっておもったら、楽しまな損やんって。だからみんなも楽しんで！



ゴミ、 ときどき カメラ

休学せずに協力隊の活動ができるという大学院の制度を活用し、隊員と院生の二足わらじで過ごしたこの2年。よくカメラマンとして日常を映し出してくれた彼が、今後見るであろう景色はどんなものなのだろう。

大学院と活動の両立は大変ではなかったですか？

大変でした。うちの研究室は週に1回、オンラインで調査内容とかを話して活動のアドバイスをもらったり、ディスカッションをして、調査のアドバイスをもらうんですが、最初活動が進まないとそもそも進まないの、話すことがない。何を話そうかからはじまる。活動がのってくる時期の傾向として先輩隊員を見ても1年、1年半ですよね。実際1年で市役所の仕事を把握して、ここでこんなことをやろうとか話が進んだのはそれぐらいでした。アンケートをやってみたって上司に言ったときも、「えっなんでやるの？自分たちのプログラムもあるから。そんな時間はない。」って最初の方は言われてしまっ。「卓也は市役所として働いているんだから」と結構言われて、調査の目的や利点を話して理解しても

らうのに苦労しました。

活動の中でやり遂げたことはありますか？

1年目の時に学校で環境クラブというのを配属先が3つの学校でやっていて、そのうちの一枚の中に分別指導をしていたんですけど、分別をするための資料とかも作って、何回か分別のための授業をして、いざ授業が終わった後にゴミ箱の中を見てみたら、全然分別されてなくて。そもそも分別した後の出口が整備されてないから、意味ないじゃんって思ったので同僚に聞いたんですが「練習だから」と言われ、いや何のための練習？っていう（笑）だからそれは力を入れてやりたいなと思って。まずその分別の出口を確保しなきゃということで、色々市内のリサイクル業者に、出張で買い取るときどのくらいのゴミ

が集まれば回収してくれますか？ってきいてまわった中で、一社、重量関係なしに回ってくれるところを見つけて。次に分別用のゴミ箱がないという問題をどうしようかなって考えていたときに飛岡さんの生徒に、コカ・コーラの社員さんがいたので、そこ経由でつないでもらって、その担当にあわせてもらえたんです。プレゼンをして1対1で話して、なんとか賛同してもらえたので20ℓのポリタンクを60個と1tの砂糖が入っていた大きな袋を20袋くらいもらうことができました。実際にそれを使って環境クラブでも2学期と3学期に一回ずつやりました。



環境クラブについて詳しく教えてください。

一校目の中学校の時は水曜日に45分くらいの時間をもらって、学校側に50名くらい生徒たちを選んでもらい一か月くらいやっていました。分別だったり、リサイクル工作だったり、あと映像媒体でビデオを流したんですが、中学校でやった時はビデオが生徒の反応がよかったですかね。ビデオやパワポのようなデジタル媒体はよく観てくれる。同僚とかはすごく話してくれるんですけど、悪く言うとちょっと話すぎる。ばーと話して終わりになってしまう。もっと生徒たちのディスカッションする場も設けたかった。ディスカッションさせた後みんなの前で発表させて、実際やるという案が出てました。逆に小学校で最初やったときは、デジタル的な映像媒体ではあまり生徒たちの反応は良くなかった。でも紙芝居とか、アナログ的なのがうけていたので、段ボールを使って、自分たちが出したごみが実際にどこに行くのか、行く先々でどんな問題がおきるかというロールプレイングみたいなことをしました。それはみんな騒がずに集中してやってくれた。最初の方とかあんまり前に出て話す機会がなかったけど半年くらい過ぎて、徐々に自分が言ったことに対して反応が返ってくるんで、そういう生徒とかとのやりとりが楽しかったですね。

アプリがあるときいたんですが。

MOPA (Monitoria Participativa) ですね。*311#と入力するといくつか選択肢がでてきて基本的にはマプト市役所に市内のゴミの問題を報告することができます。例えばコンテナがいっぱいでゴミが捨てられないとか、コンテナのゴミが燃えてるとか排水溝がゴミで詰まっているとかを位置情報をつけて送れます。受け取った市役所はそこを管轄しているパイロの担当者に連絡し、解決するという流れですね。モザン人もまだ知らない人が多く、ポスター・パンフレット・ステッカーなど広報媒体を作って配ったりしてるけど、実際にスマホで見せたり実際に試してもらうなど、より使ってもらえるような啓発活動をもっとやれたらよかったです。

最後に隊員に向けてアドバイスをお願いします。

ないものねだりをしてしまうと思うんです。自分も首都隊員でしたけどむちゃくちゃいい点もあるけど地方隊員もやってみたかったなとか学校隊員やってみたかったなとか思った時期もありますし環境に対して不満を持つことってあると思います。でも自分の選んだ道ですし、その中でできることを模索し続けることが大事かなと。あとはほかの隊員のことは気にせずに、いってしまえばJICAも気にせずに、やりたいことをやればいい。俺は、やりたいことはまあやれたかな。結構失敗しそうだなって可能性が高いこともとりあえずやってみることを意識した。話しててうまくいかなさそうだなって言って結局何もせずに終わるのはいやだった。とりあえずやってみる。会話とかで、こんな話しても興味わかないよな、お金とかのインセンティブがない中でやる気でないよなとか、でもそれって想像してるだけであって実際どうかはわからない。他の要因があるかもしれない。だからそういう小さなこととかもどうせ動かないだろうなってあきらめるのではなく、話してみる、やってみる、一歩まではいなくてもとりあえず足を動かしてみる、それが大切なのではないかと思います。





2016年度3次隊

松山倫子

ガザ州シャイシャイで数学教員として11年生に数学を教えていた倫子さん。空いている土日はマプトにあるマザーハウスをよく来訪していた。モザンビークにきてすぐに連絡をとり、そこから2年間、活動の合間に通ったそう。そんな倫子さんに施設を案内してもらった。





マザーテレサがインドで始めた「死を待つ人の家」から広がった救貧院。

「全ての貧しい国(母親が経済状況を理由に墮胎する日本をも含む)」に支部がある。

モザンビークではマプトとナンブラに支部があり、ナンブラは孤児のみ、マプトは乳児から老人まで計約100人ほどの男女が寝起きを共にしている。また、学校も併設されており、来訪者がくると子どもたちが歌で出迎えてくれる。

中心となっているのは、世界各地から信仰のために志願したシスター達で、数年おきに各地の施設を巡るので、様々な国々の事情に通じており、逞しい。

あくまで教会の運営なので、入居者や関係者は基本的にクリスチャンであり、彼らの信仰を尊重する態度が必要(宗教行為に参加する必要は無い)。

ボランティアを希望する場合は、乳幼児の給餌、オムツ替えから、キッチンの仕込み、洗濯の手伝い、老人の話し相手など、率先して行えばほぼ何でもできる。小さな赤ちゃんから、大人までたくさんの方が住んでいるため、料理の量もかなり多い。この日は野菜を切ったり料理のお手伝いを。



子どもたちにご飯を食べさせるのを手伝ったり、一緒に遊んだり。来訪者も多いためかこの子どもたちはひとなつこく、人見知りをあまりしないよう。

倫子さんの顔を見ると入居者はみんな安心したような顔になる。始終楽しそうに会話する人々の姿を見ることができた。

興味のある人はぜひ、訪問してほしい。

Museuからの行き方



MuseuからMagoanine行きの黄色のシャバまたはバスにのり、パラージンPrimeira Ruaで降りる。ゴミの処分場の横を通り住宅地へと進み、突き当りを左に曲がると左手にすぐ青い門が見える。





日本との違いは？

間違い多い！

どうやって教科書作ってるの？

教えて！

モザンの教科書事情

いいところってどこ？

教科書ってみんな持ってる？

教科書高い！

モザンの教科書会社に潜入！

モザンビークの主な教科書会社は 3,4 社あり今回訪問したのは PLURAL というモザンの中でも大きな教科書会社。教科書作成の流れや問題点について聞いた。

教育省がよい教科書を教科ごと、学年ごとに決めています。実際学校では違うものが使われていたり、州によって、教科書を買うことが困難なのが現状です。すべての教科の教科書がないし、北部に行くほど届くまでに時間がかかってしまうのも問題点。小学校では先生に教科書が与えられ、その後生徒に教科書を与える流れですが、子どもが多いから全員に与えることができない。あくまで貸し出し。そのため、教科書に書き込むことができない。うちの会社では、よりよいものにするために年間で先生に実際に使ってもらっています。その後評価点を教育省から会社にフィードバックしてもらっています。

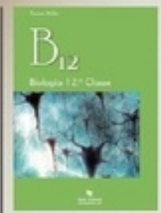
2016年度3次隊
染谷 情佳



イケメン Director João さん
plural@pluraeditores.co.mz



▶モザンの教科書



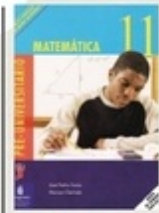
Texto Editores
演習問題や写真が豊富だが間違いが多い。値段は比較的安め。



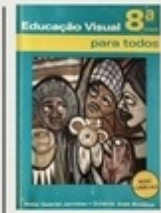
PLURAL EDITORES
写真が多く生徒にはおすすめしやすい教科書。紙の質もよい。ただ、論点がずれている内容もある。

これが教育省より

認定された証。



PEARSON
昔に主に使われていた。その名残で使う教師も多い。写真よりもイラストが多い。



Diname
モザンビーク独自の教科書。ポルトガル語も簡単なものが多い。



教科書会社訪問後、モザンの教科書事情について考える。

東 今回染谷さん発信でしたが、もともとどうして教科書会社とコンタクトを取ろうと思ったんですか？

染谷 教科書の内容にとにかく間違いが多い！今日行った会社は量めっちゃ多くて言い回しがちょっと回りくどいところもある。どんな人が作っているのかみたかったし小さい会社も含めて7社に話をしたいってメールを送って返ってきたのがここだけだった（笑）

東 今日振り返ってどうでした？

染谷 思ったよりしっかりした会社だった。

ケン 今日話を聞いて思ったのはかなり *ministério* ありきなんだなーと。

海野 そうだね、教科書の選定って政府主導。

倫子 日本だと教科書検定制度があるよね。

海野 こっちでは選定したものに *aprovado* (または *adoptado*) ってロゴが入るね。

ケン 日本の教科書事情はどうなんですか。

海野 日本の場合は教科書会社たくさんあるけど各出版社によってレベルが違う。日本は先生の好みで先生が選んでる。日本で売られるのは基本的に全部文科省によって検定されてて、小中学校は義務教育なので市町村や都道府県の教育委員会によって決められるはず。

ケン 高校は先生たちが決めてるんだ？

海野 問題集とかも僕が決めてたね。

ケン モザンではどういうサイクルで教科書は作られるって言ってましたっけ？

染谷 1年で作り上げた後4年間で何回も教育省とかいろいろなところと会議をかさねて、ちょっとずつ調整して今の現状にあったのに変える。5年サイクルって言ってたね。その間に間違いを見つけたら訂正していく。次に出るのは2021年。

海野 手順としては政府の指導要領ができあがりそれを受けて出版社がつくる。でも0からつくるわけじゃないから、改定が政府からきて、いらぬところを削ってほしいところを足していくのを繰り返していく。

倫子 そういえば私たちがモザンに来た時に、学校制度を6・3・3制にかえるって言ってたけど。

ケン ずっと言ってます。中高も義務教育にして教科書も無償で配れるようにしたいらしいけど厳しいんじゃないですか。

海野 1冊500mとかだしね。結局値段が高いのは数多く出せないからっていうのはある。みんな買わない。

染谷 買えないって言ってましたね。生徒はほぼみんな持っていない。教科書って富裕層むけじゃないですか。

海野 とてもじゃないけど買いきれない。ホームステイ先のトゥディーニャさんにきいたら高いから買わないって言ってた。あと、こっちの人たちって本を読む習慣があんまりないから。

倫子 Joãoさんも言語の問題って言ったね。家では現地語、学校ではポルトガル語だし。ポルトガル語が現地語とすごく違う。

海野 結局買ってもらえないからいっぱい生産しても赤字になっちゃう。だからある程度作って教育界に売ればいいかなって感じ。

ケン 負のサイクルですよ。いろんな人を買ってもらえるように安価にするよう努力をしないとイケないのに。

染谷 Joãoさんは表紙を上質なものにしたり工夫してるって言ってましたけど。

倫子 でもむしろ質素にして、ページ数減らして簡便にして安くするべきじゃない？

ケン あの厚さの教科書は先生用でいいよね。内容が多すぎる。

海野 カラーである必要も本当はない。今日話を聞いてて長く使えるようにっていうニュアンスだったよね。わざわざ紙をよくするのは下の子も使えるように。日本とはベクトルが違う。

東 今日の収穫は？

染谷 間違えてるのを見つけたら連絡くださいって言ってもらえたりバンバン送ろう（笑）。次につなげられたんじゃないかなと。あとは生徒たちの家事や畑仕事などの負担が大きいって話も出てきて、教科書を作っている人たちが現状を理解できていってるんだなってのが分かったのはいい発見だった。教科書会議に混ざれないか考え中。まだまだ問題が多いモザンの教科書事情だけど、できるだけいいものになるよう、私たちが力になればいいよね。

▼ こんな本も発見！



現地語（13種類）によって書かれた低学年向けの教科書、伝記や昔話。



UV CARE

今、知っておきたい 紫外線のこと！

みなさん、きちんと紫外線ケアしていますか？日焼け止め、最初のうちは毎日塗っていたけど面倒臭くなっておざなりに…というのは隊員あるあるかもしれません。アフリカにいる以上侮れない紫外線。日焼け以外にはどんな影響があるのでしょうか？

Topic 1

肌の老化の 8 割は紫外線が原因！



紫外線はただ日焼けの原因となるだけでなく、こわ～いしみ・しわ・たるみをも引き起こします。なんと肌の老化の8割は紫外線が原因とも言われ、皮膚ガンのリスクも高まります。つまりいくら保湿をしても、エステに通っても紫外線対策をしていなければ意味がないとも言えます。

この写真はアメリカのトラック運転手の写真



28年間同じ道を走っていて、左側からずっと日差しを浴び続けました。その結果左側だけ肌の老化が進んでいます。



Topic 2

紫外線の種類 曇りでも要注意！

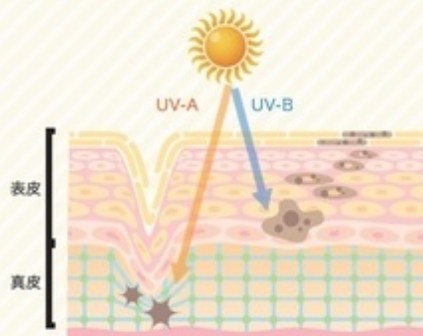
地上に届く紫外線にはUV-Aと、UV-Bの2種類があります。（もう1つ、UV-Cはオゾン層で吸収されるため地上には届かない）

UV-Aは肌の奥深くまで浸透し、しわやたるみの原因となります。雲を通り抜ける性質を持っているので、曇りの日でも私たちに降り注ぎます。

UV-Bは、肌の表面のDNAや細胞膜を破壊して日焼け・しみ・そばかすを引き起こします。UV-Bの量は、全紫外線量の10%にも満たないですが、有害性はUV-Aの600～1000倍とも言われます。

UV-A

- ・肌の奥深くまで到達
- ・肌が黒くなる日焼け（サンタン）
- ・しわやたるみの原因



UV-B

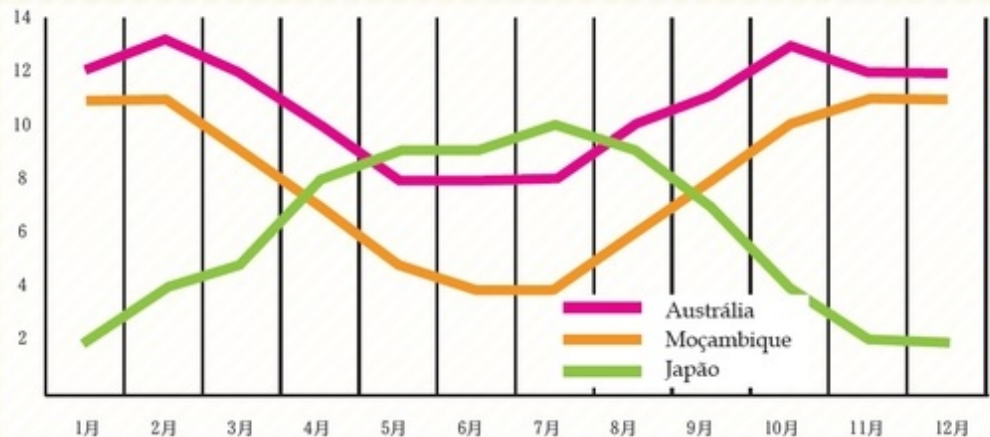
- ・肌が赤くなる日焼け（サンバーン）
- ・しみ、そばかすの原因

Topic 3

モザンの日差しの強さは？

このグラフは、紫外線の強さを表したものです。

モザンビークの紫外線は、当たり前ですが日本よりも強く、特に10月～2月は数値が高くなっています。せめて日差しの強い季節だけでも日焼け止めは塗りましょう！ちなみに、世界一紫外線が強いと言われているオーストラリアは5月～7月以外常に高い数値です。



Topic 4

日焼け止めの選び方

日焼け止めには、SPFとPAの表示があります。それぞれ PA→UV-A SPF→UV-B の防止効果を表す目安です。

PAは+の多さで効果の強さを表します。写真のように++++が一番効果が高いです。

SPFは一般的な日焼け止めでは15～50の数値で表し、数値が大きいほど効果は高まります。(50以上は50+と表される)

ただし、つまり一番効果が高いものでSPF50、PA++++となりますがその分肌に負担もかかるので、敏感肌の人などは少し気をつけて選びましょう。

(日常使いはSPF30、海に行く時はSPF50など)



For example

赤くなるまでに20分かかる人にSPF30の日焼け止めを塗ると…

$$20分 \times SPF30 = 600分$$

人それぞれ違う

UV-Bを防げる時間

PA
⇒UV-A

- ・皮膚が黒くなるのを防ぐ
- ・効果別に4段階

SPF
⇒UV-B

- ・皮膚の赤い斑点を何倍防ぐことができるか示す指標

Topic 5

紫外線ケア、どうすればいいの？



- ・日焼け止めを塗る
(時間が経つごとに効果は薄れるので、こまめな塗り直しを推奨)
- ・帽子をかぶる(頭皮も焼けます)
- ・薄手の上着などを着用、肌を守る
(カプラナでも○)
- ・日焼けをしてしまったら、保冷剤などでその日のうちに肌を冷やし、保湿をしっかり行う

EXPEDIÇÃO EM NAMPULA



壁画を求めて。Part 2



ナンブラに女性が来ないなあ。と、常に嘆くナンブラ隊員たち。そこで、ナンブラに女性を呼ぼうと必死で観光名物を探す毎日。前号にてRibauéの壁画を紹介したところ、興味を持ってくれた隊員がいたので、これは期待が持てる!と今号でもご紹介。まだまだ隠されたところがあるので協力隊壁画ハンターとしてシリーズ化も検討中。

今回訪れたのはMeconta。ナンブラからモザンビーク島方面へ車で1時間ほど行ったところに位置する街で、国道沿いにあるため比較的訪れやすいスポット。山も険しくなく、初心者にはおすすめ。あらかじめ山の守り主に連絡しておくとお祈りを体験することができる(有料)が、連絡なしに訪れることも可能。

登頂からは数分で壁画にたどり着ける。「あ、ここなら住める。」と思えるほど居住に適した場所に残されている。



壁画のある山を越え、裏山に行くと水が湧く洞窟へたどり着く。ここは先祖の魂が眠る神聖な場所ということで、神社のようなものを感じた。思わず女性が来ますようにと手を合わせてお祈りをした。

アクセス

ナンブラ市内よりイーリヤ方面向きのシャバに乗り、75MT. MecontaのMontanhaに行きたいと伝えると良い。(途中ほぼ100%でパスポートチェックがあるので忘れずに。) 守り主に案内してもら場合は電話の必要がある。詳しくはナンブラ隊員まで。

そうだ

ビランクーロ、

行こう。

おすすめスポット紹介

Vilankulo

ビランクーロ

モザンビーク屈指のビーチリゾートとして知られるイニャンバネ州ビランクーロ。市街地から徒歩10分ほどで海岸へでることができ、エメラルドグリーンに透き通る青い海が私たちを迎えてくれる。ゆっくりと流れる時間はまさに癒しのひととき。ビーチでは子供たちが泳いで遊んでいたり、夕方には漁師たちがたくさんの魚を揚げに浜辺へやってきたりして、ビランクーロ住民の生活を垣間見ることできる。



市街地MAP



01

Bahia Mar Boutique

ちょっとリッチなディナーを食べたい時は、ホテルBahia Mar Boutiqueへ。プール付きの中庭からはビーチを眺めることもできる、落ち着いた内装が素敵なレストラン。新鮮な魚介類を使った料理の他、サモサやマタバなどのモザンビーク料理も味わえる。豊富な種類のワインや、食後のデザートもお忘れなく。夜は生演奏の音楽を楽しみながら、とっておきのセレブ気分を味わうことができる。



02

Frutos do Mar

南ア人がオーナーを務める、レストランFrutos do Mar。ビーチから少し高台にあるこの場所からはビランクーロの海を一望できる。景色を楽しむなら日中の時間帯がおすすめ。白を基調とした開放的な店内はインスタ映えするスポットばかり。カニがまるごと入ったココナッツカレーなど、どの料理も美味。ぜひ、おしゃれな空間でおいしい料理と綺麗な景色を楽しんでほしい。



03

Tropical Bar

ビランクーロのビーチ沿いにあるTropical Barは美しいビーチを眺めながら、ゆっくりと食事やお酒を楽しむことができる。ランチタイムから夜遅くまで、日曜も営業しているので便利。美味しいローカルフードがお手頃価格で食べられる。おすすめはエビヤイカを使ったシーフード料理。2Mを片手に、潮の満ち引きで刻一刻と表情を変えるビランクーロの海を堪能する至福の時間をどうぞ。



04

Duna vermelha

ビランクーロで見られる絶景は、海だけではない。市街地から車で30分ほどで到着する砂丘、通称“Duna Vermelha”。夕暮れが近づくと、辺り一面がオレンジ色の光に包まれる。眼下に広がるのは深緑の森と、群青の海。目の前を遮るものが無い広い平原を大きな夕日がゆっくりと沈んでいく様子は圧巻。大自然のパワーを全身で感じることができる、おすすめスポットだ。町のツーリストインフォメーションでツアーを申し込むことができ、約3時間のツアーで料金は2000mt。



もう少し足をのぼして…



05

Artesanatos



ビランクーロ市内にはあちこちに工芸品のお店が並んでいる。木彫りの置物や貝殻のアクセサリ、カブラナグッズなど、職人による手作りの品々はどれも個性的で眺めるだけでも楽しい。ビランクーロ観光のおみやげに、地場産品を思い出と一緒に持ち帰ってみては。



Arquipélago de Bazaruto バザルト諸島



ビランクーロ観光で外せないのが国立公園バザルト諸島の日帰りツアー。一番人気は、最も大きいバザルト島と、その隣に位置するベンゲラ島を回る観光ツアー。ビランクーロから小型船をチャーターして約40分で到着するこの島では、どこまでも広がる白い砂丘と青い海のコントラストが息をのむほど美しい。島内の散策の他、美しいサンゴ礁とそこに戯れるたくさんの魚たちをシュノーケリングで楽しむことができる。透明度が高いこの海では、泳がなければジュゴンが見られる可能性も。市内に複数ある旅行代理店やホテルからツアーを申し込むことができ、往復渡航費、昼食、シュノーケリングセットがついて4500mtで一日観光が可能。アフリカのイメージを覆す、一面の青、青、青。写真だけでは伝えきれない濃淡様々なブルーの美しさは一見の価値あり。バザルト島を見ずにモザンビーク生活を終えるのはもったいない！ぜひ一度、足を運んでほしい場所。



唯一の世界遺産 モザンビーク島 ～200周年特集 観光MAP～

北部モザンビークのマクア民族がお祭りでよく踊る伝統ダンス「TUFU」。
バトゥーキの音色とMAMA達の歌声は見学するもの魅了する。
顔に塗っている白いものは「ムシロ」と呼ばれる木を粉末状にした美容パック。

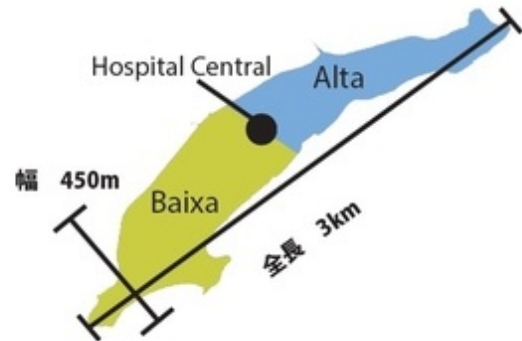


モザンビーク島の歴史

モザンビーク島はモザンビークが唯一保有している世界遺産である。反対に国土面積がモザンビークの半分の日本には有形、無形を合わせて全部で22個登録されている。モザンビークを訪れる多くの観光客が立ち寄るモザンビーク島は今年9/17に200執念を迎えた。隊員の中にも今だに訪れたこともない人もいるであろう、唯一の世界遺産らしい魅力一杯のモザンビーク島を今号ではたっぷりご紹介する。

まず簡単な歴史紹介として、モザンビーク島は900~1500年頃までペルシャやアラブ人との交易(主に金が主流)が行われており、その頃の影響からイスラム教が布教した。その後1498年に、かのヴァスコ・ダ・ガマが訪れたことでポルトガルの影響が強まる。のちに紹介するセン・バスチャン城塞は16世紀半ばに建設され、アラブ人などからの侵攻に備えたとされる。1752年にモザンビーク島が首都とされたものの、1898年にローレンソ・マルケス(現マプト)へと首都が移され、現在は観光地として存在している。世界遺産に登録されたのは1991年。島全体が世界遺産として登録され、城塞内には南半球最古のヨーロッパ建築とされるカトリック教会を有するモザンビークが誇る観光地だ。

モザンビークには各町で誕生日が存在する。その日は街全体が休日となり、住民が総出でお祝いをする。その誕生日とは行政府が置かれた日になるそうだ。200周年という節目を迎えたモザンビーク島には以前から多くの著名人が来ると噂になっていた。ニュシ大統領をはじめ、ポルトガルの大統領、そして、オバマ大統領が来るとの噂まで流れた。当日はもちろん来ることはなかったが、各州から観光客や行商人が集い、去年以上の盛り上がりを見せていた。



Mapa da Ilha de Moçambique



いざモザンビーク島へ

島へ入島するには対岸の町ジンベジからシャパに乗り換え、全長約4kmの大陸と島を唯一結ぶ橋を渡る。晴れた日には両側にエメラルドグリーンの海が広がり、窓から潮の匂いが入り込む。匂いを嗅ぐと子供ながら早く着かないかとソワソワしてしまう。橋を渡りきると、大きなガジュマルが我々の到着を待っている。

モザンビーク島の全長は約3kmで、比較的簡単に徒歩で周遊が可能だ。島は大きくHospital-Centralを中心にAltaとBaixaに分けられ、主にAltaは観光地区、Baixaは島民の居住地とされる。実際にBaixaには低いところに家々が並んでおり、それはポルトガル人がBaixaの土を建設のために持ち出したためと言われている。Alta側には植民地時代の名残を残す16世紀の建築物が今も修繕を待ったまま佇んでおり、散歩をしているといかにも16世紀にタイムスリップしたかのように錯覚する。そんな少し悲しい歴史がありながらも、Baixaに住む子供達にはいつも元気をもらう。外国人にも慣れた子供達は人見知りもせず話しかけてくる。2013年から協力隊の隊員が活動を始めたため、「おはよう!」などと日本語で話しかけて来る子供達も多かった。

Ilha de Moçambique

島には普段食べられないような絶品料理がたくさん。宿泊施設もリーズナブルなバックパッカー宿から、リゾートホテルまで揃っており、1泊2日だけでは物足りない。また、モザンビーク島の外にも、ビーチが綺麗なショーカス(本土側)、3つの無人島が存在し、是非長期滞在して堪能したいところ。すべて、島を中心に移動が可能。

本土側のジンベジにも魚市場、また獲れたての海鮮物を振る舞うバラッカと穴場も多い。

Ponta ①

全長約4kmほどあるモザンビーク島へかかる橋。両脇に広がる青い海が迎えてくれる。



Baixa ②

モザン島の貧困地区。と言いつつも、隊員のおかげで問題なく歩くことができる。現地の生活が垣間見える。



Jembesse ③

対岸の市場のある町。魚市場がある。獲れたての海鮮を振る舞うバラッカの味は格別。



Chocas ④

対岸にあるビーチ。綺麗なコテージ完備で、人も少なく、のんびりしたい時に最適。



FEITORIA ⑯

ライトアップが幻想的なブティックホテル。





Pontão

モザンビーク島名物、飛び込み橋。禁漁区域の為、たくさん魚が泳いでおり、シュノーケリングも可能。



Praia

島で一番綺麗なビーチ。島中の人が集まる。



Furtaleza

最北端にそびえる要塞。南半球最古のカトリック教会は必見。



Hospital

島内の病院。当時の面影を残している。



Museu

総督府として使用され、交易のあった国からの輸入品が展示されている。



Âncora D'ouro

朝8時から開いており、立地も良い。そして薄焼きピザはおすすめ。



Rickshaws

オーシャンビューが綺麗。ロブスターカレーがおすすめ。



Dona. Sara

北部料理のトコサードとここでしか食べられない海藻マターバは是非。



KARIBU

何でもおいしい。マグロのたたき、チーズケーキは外せない。



Reliquias

隠れ家レストラン。お酒、デザートの種類が豊富。



Bar Flor

屋上のあるレストラン。料理を待つ間流れ星を探すのもいい。



Ruby

島内で比較的リーズナブルなバックパッカー宿。



Vila Sands

白い壁が海と空の青さを引き立てる爽やかなブティックホテル。



Escondidinho

植民地時代の雰囲気があるホテル



Mooxeleliya

歴史を感じる建物。料金も安めの居心地の良いホテル。



Lissinha

隊員御用達のコンビニ。「水下さい。」など、日本語が通じる。



Harry Potter

こちらも隊員御用達ツアー会社。船や自転車の手配をしてくれる。



Museu de Arte

10月にできた現代美術館。お土産も買うことができる。



トゥディーニャさんに学ぶ

絶品!

モザン料理



みなさま
お待ちかね(?)の
この企画
ついに実現です。

ベテランホストマザー

トゥディーニャさん。

受け入れた隊員数は、20人越え!

ご近所のイルダさんとのコンビは、
モザン名物の一つ。

みんなのお母さん、トゥディーニャさん
が作るご飯は本当に美味しい!

とっておきのレシピを聞いて来ました。

PiriPiri

初めの頃は少しかけるだけでうんと辛く感じたピリピリ。
いつの間にかすっかり慣れて、もはやピリピリがないと物足りないのでは?
定番中の定番の一品。



作り方

- ① 小さいレモンを写真のように切って、中に塩を塗ってを置いておく。
1日置いておけば十分。
- ② 大量の唐辛子をミキサーへ。レモン汁を唐辛子が浸るくらい入れて、
ミキサーにかける。ミキサーがなければ唐辛子をみじん切りにして、
レモン汁と合わせる。
- ③ 小さいレモンをびんに入れる。
レモンは小さいものがなければ普通のサイズのものでも良いが、その
場合はびんの中には入れずに全て絞ること。
- ④ ミキサーにかけた唐辛子をびんの中に入れる。
- ⑤ 最後に塩少々、オリーブオイルを大さじ1、2杯を入れて混ぜて完成。



材料 大きめのびん1つ分

小さいレモン 7.8個
(びんの中にそのまま
入れる用)
普通サイズのレモン
1個 (絞る用)
唐辛子 びんに入る
ぶんだけ
塩、オリーブオイル
少々

それにしてもトゥディーニャさん、作るのが早い! 同時進行でスピーディーに調理する姿に圧倒される私
たち(笑)手の動きなんて早すぎて、写真がぶれる。

あゆみ「トゥディーニャさん、話すのも早いし、料理するのも早いですね」「あはは、そう?」

Chamuça

作る要領はほとんど餃子と一緒に。タネを作って、皮で包んで揚げる。具はお好みで変えても良いです。



材料 30個分

牛ひき肉 500g
 アバ(皮) 1塊
 にんにく 5、6かけら
 塩 少々
 玉ねぎ 1個
 青ネギ 1束
 バクチー 1束
 クミンパウダー 1さじ
 バクチーパウダー 少々
 ターメリックパウダー
 スプーン半分
 (ポルトガル語
 クミン: Cominho
 バクチー: Coentro)

作り方

- ① 牛ひき肉を炒めて火を通す。
- ② 潰したニンニクを入れる。潰す道具があれば、使ってねちよっとなるまで潰す。なければみじん切りに。
 (辛いのが好きなら唐辛子を入れてもいいわよ)
- ③ バクチーパウダー・クミン・ターメリックを入れて炒め、みじん切りにした青ネギと、細かく切った玉ねぎを加える。少し炒めたら、バクチーを入れる。全体的に火が通ったら具は完成。
- ④ 小麦粉と水を混ぜてのりを作る。ねっとりしたペースト状になるように、量を調節して。
- ⑤ 具を包む。「これがちょっと難しいの。できるかな」
- ⑥ 油で揚げて、出来上がり。中の具は火が通っているので、皮だけパリッと揚がればOK



つつみ方

手の上に皮を縦に置き上の部分を斜めにひっくり返すように折る。

右側の皮を左側にもってくる。

ポケットができるので具を詰める。

ポケットを覆うように皮をかぶせる。

三角形になるように、角を合わせながら皮を折っていく。

小麦粉と水で作ったのりを塗る。

くつつける。最初は難しいけど、慣れれば簡単!

☆完成!☆

Xima

作り方

- ① 2カップほどのシマの粉を鍋に入れる。
- ② 水を2カップ入れて、火にかけて沸騰させる。お好みで塩、油、お酢を少々入れてもOK
- ③ 火にかけながら練る。固すぎるようであれば水を加え、柔らかければ粉を足して。だんだん硬くなってきたら、火からおろして冷ます。



Caril de Amendoin

煮込みまくり、混ぜまくりで手間と時間がかかりますが、その分美味しさは格別。調味料はほんの少しの塩だけなのに、コクと風味がしっかり出ています。目を放すとすぐに吹きこぼれてしまうので、近くを離れないように。

材料 6,7人分

粉末のピーナッツ
2カップくらい
(1カップ25メチ
ほどで売っている)
トマト 大1個
塩少々
玉ねぎ 大1個
鶏肉 1羽



出来上がりまでだいたい
2時間半から3時間ほど。
牛肉で作るときは、先に牛肉と
玉ねぎを炒めて次に水と
ピーナッツを入れる。
エビやカニを使う際は、鶏肉と
同じ要領。

作り方

- ① 粉末のピーナッツと、細かく切ったトマト容器に入れる。
- ② 水を具が浸るくらい入れて、ハンドミキサーにかける。なければトマトを吸って、こす。
- ③ 濾し器で、こす。とんとんと叩きながら。これでピーナッツのミルクをとる
Point 水は最初白っぽい色。水の色が半透明になるまで、何度もこす。半透明になり、ピーナッツが皮だけになったらミルクが取り終わったサイン。
- ④ 鍋に入れて、塩を2つまみ加え、混ぜながら火にかける。
Point 乱暴にかき回さずに、静かに混ぜる。
 混ぜないとすぐに吹きこぼれて、ヨーグルトのようにドロドロになってしまう。
- ⑤ 玉ねぎを小さめに切って入れる。混ぜながら引き続き煮る。
- ⑥ とろみが出てきたら、鶏肉を食べやすい大きさに切って入れる。
- ⑦ 混ぜて混ぜて…、油が浮いてきたら pronto!



Bon appetite!

完成!



一度覚えてしまえば日本に帰った後
も、モザンの味を思い出せますね!
ぜひトライしてみてください!



寺田隊員の相棒ベルナルドくん(30)

寺田「イニャンバネ州 No.1養蜂普及員のベルちゃん!最近車を手に入れたので、もしザバラにお越しの際はドライブデートでも!(寺田も付きます)」

イーリヤで有名でめちゃイケメン。ドミにもこの人が写っているパンフがあるけど、今のところダントツ1位!



Kohei ISHIDA

街を歩いていたとしてもセクシーなぽんきゅっぽんの方がいたので。日本ではなかなかこんな体型の方はいませんよね。モザン人も、ぽあむりえーるのと言っていました。

Syosuke NOTO



Mariko KOMATSU



ホームステイ先の宮孫。将来かなりの美人になることまちがいないし。

Chieri AZUMA

S N I A P

イケメンイケジョは目の保養 私の街の BONITO e BONITA

スペインの環境系NGOで働いている。真面目で見た目のみならず、中身もイケメン!残念ながら既婚者。

Ayumi KUZUMAKI

一緒に敷地に住んでいる大家の孫のエディです。活動から帰ってきたら、たきー!(たぐが発音できない)って言うて駆け寄ってきます。それが活動の癒しです。笑

Taku YAMAMOTO



個人的に同僚の中でも一押しの人です。とても見た目も話し方も可愛くて付き合いたいなあと思ってます。(奥手)

Shosuke NOTO



私と同じ職場の同僚。背が高いクール系美女。

Ayumi KUZUMAKI



イケメンというより面白い人。

VOL.
03 編集後記
MOZAMTIMES

Takahiro YOKOI 2016-03

嬉しいことに今回の機関紙作成にあたり、新たに Mulheres Lindas (女性全員が南ということで、残念ながらハーレムは満喫できず)にご協力頂きました。思いつきから始めた機関紙がこのような形で継続され、関係者の方の手に渡ることを大変嬉しく思います。今回は前回の倍の50pとボリュームが増え、読み疲れてしまわないかと不安な気持ちもありますが、少しでもこの機関紙が皆様の日常の活力になることを願っております。

ご協力頂いた皆様、ありがとうございました！これで安心して、帰国できます。
Até a próxima!!



Chieri AZUMA 2017-03

今回の号では青木次長をはじめ、帰国隊員やいろいろな方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。皆様のおかげで、前回よりもさらに読み応えのある冊子ができたと思います。先輩隊員のインタビューでは、私自身本当にためになるお話をきけ、とても楽しかったです。今回、時間とページ数の兼ね合いで次号へと飛ばした企画がまだまだあります。こんな企画おもしろいのでは？などといった皆様からの意見もお待ちしております。

Ayumi KUZUMAKI 2017-03

今回初めて雑誌の制作に携わりましたが、想像していた以上に楽しい作業でした。インタビューをしたり、自分の伝えたいことを書いたり。特に紫外線に関する記事は、前々からみなさんに伝えたいと思っていたので、書いていて熱が入りました(笑) そのうちにあれも書いて見たい、あんな企画面白そう、というアイデアもいくつも浮かんできたので、次回の機関紙で実現できればいいと思います。そして横井さん、ちえり、素晴らしい編集をありがとうございました！



Mariko KOMATSU 2017-04

前号の機関誌のクオリティの高さに感動し、勢いあまって「私も編集委員やります！」と宣言し、微力ながら制作のお手伝いをさせて頂きました。とっても楽しかったです！協力してくれた皆さんありがとうございました。どの記事もおもしろくて、制作側ながらニヤニヤしつつ読んでいました。ぜひ皆さんにも隅々まで読んで欲しい！そして、ぜひピランクローに遊びに来てほしい！！待ってまーす！



■ OBRIGADO PELAS
FOTOS

Takuya SANO

Syosuke NOTO

Takao UNNO

Taku YAMAMOTO

Kohei ISHIDA

Yuri HIRAYAMA

Yui HOSOKAWA

Go MIURA

Asami SUZUKI



MOZAMTIMES VOL.3

JICA モザンビーク ボランティア 機関紙

2018年12月 発行